

S H I M A N E A R T M U S E U M

島根県立美術館のあゆみ
2004-2009



島根県立美術館のあゆみ
2004-2009

島根県立美術館



S H I M A N E A R T M U S E U M



島根県立美術館のあゆみ

2004-2009



湖と大地に連続したコンセプト

穴道湖畔の景観と敷地のもつ活力を、ゆるやかに大地が隆起する連続したイメージで表現。
湖畔公園と敷地のもつ特徴を生かした形で、調和の中に豊かな表情を創る。

挨拶

副島 三喜男

島根県立美術館長

島根県立美術館にとってのこの5年間は、平成11年3月の創設以来築いてきた基礎を、より確実なものにするための5年間であったといえます。

企画展では、「昭和前期の洋画1923-1945」から、集大成ともいうべき10周年記念展「フランス絵画の19世紀」を含め、各年6～7本を開催して延べ120万人余の入館者を迎えることができました。また、県民ギャラリーの利用率は100%、湖畔のウサギのオブジェには「触れると幸せが訪れる」という伝説が生まれるなど、「県民に親しまれかつ島根県の芸術文化の発展と向上に寄与する」という設置理念の実現に向けた努力が実を結びつつあります。

コレクションについては、購入は、厳しい財政事情から20件にとどまりましたが、寄贈作品は、234件に上りました。この場を借りて厚くお礼申し上げます。

さて、劈頭にニューヨークで勃発した同時多発テロが象徴するように、21世紀は決して期待されたようなバラ色の世紀ではありませんでした。国内でも経済的な面だけに限らず、長いトンネルの先に明かりが見えない感を禁じ得ません。しかし、日々の生活に「ゆとり」の乏しいこのような時代にこそ、人々は安らぎと潤いを求め、その願いに応えるためにも、心のよりどころとしての美術館の役割は一層高まっていくものと考えます。

幸いにして、島根県立美術館は、優れた湖辺景観、ゆったりとした館内空間など、このニーズに応えられる高いポテンシャルを備えています。このような恵まれた条件を生かして県民の皆様の期待に応える美術館サービスの充実に努めるとともに、基礎となる調査研究や作品収集に一層の厚みを加え、50年先100年先を見据えながら、次の5年に向かってまいりたいと思います。

ここにこの5年間の活動状況をご報告し、県民の皆様にさらなるご支援とご協力をお願いいたします。



シンボルマークのイメージについて

○水のイメージ ○宍道湖のイメージ ○島根(Shimane)のSの形状から ○美術館の建物の形状から

制作者

た なか いっ こう
田中一光
(1930~2002年)

奈良市生まれ。1950年京都市立美術専門学校（現京都芸大）卒業。1960年日本デザインセンター創立に参加。1963年田中一光デザイン室主宰。日宣美会員賞、ワルシャワ国際ポスタービエンナーレ銀賞、毎日デザイン賞、芸術選奨文部大臣新人賞、ニューヨークADC金賞、東京ADC会員最高賞、毎日芸術賞、日本文化デザイン大賞、TDC会員金賞、朝日賞、第一回亀倉賞などを受賞。N.Y.及び東京ADC殿堂入り、紫綬褒章受章、文化功労者表彰。

目次

○挨拶	3
○シンボルマークについて	4
○事業内容・経緯・組織図	6
○事業	
コレクション展	8
企画展	12
教育普及	30
○その他	
活動データ	
入館者の状況	36
予算概要	38
作品収集状況	40
ミュージアムパスポート会員の入会状況	41
指定管理業務	42
ギャラリー利用状況	44
建築設備 他	
フロア構成・部門別面積表	45
建築設備概要	46
利用案内	49

凡例:

- ・平成22年度5月31日までを掲載する
- ・各事業報告の文中に出てくる講師等の肩書きは、事業が行われた当時のものである

■ 事業内容・経緯・組織図

島根県立美術館は、「県民に開かれた美術館」「芸術活動を育成する美術館」「水と調和する美術館」の3つを基本的な性格として平成11年3月に開館しました。宍道湖畔の絶好のロケーションをもつこの美術館は、21世紀に向けた新たな文化拠点として、芸術の振興と発展に寄与していきます。

事業内容

1、展示公開

幅広い視野で多彩な企画展を開催します。また、収蔵作品を主体としてコレクション展示を行います。

2、収集保存

絵画、彫刻、工芸、写真等、各分野の優れた作品を収集します。特に次の領域に重点をおいて収集を行います。

- (1) 水を画題とする絵画
- (2) 日本の版画
- (3) 国内外の写真
- (4) 木を素材とした彫刻
- (5) 島根の美術

3、調査研究

美術作品の学術的研究、ならびに作品の展示・保存や教育普及などに関する専門的な調査研究を行います。

4、教育普及

展覧会に関連する講演会や創作講座のほか、美術図書の公開を行うなど様々な活動を行います。また、自由な作品発表の場を提供します。

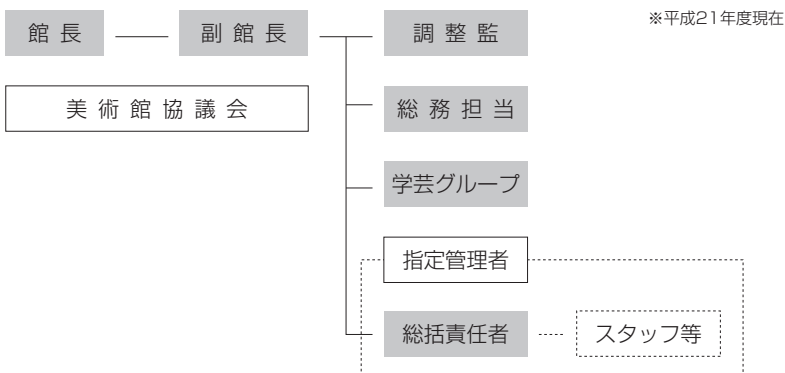
5、美術情報の提供

収蔵作品の情報をデータベースに蓄積し公開します。

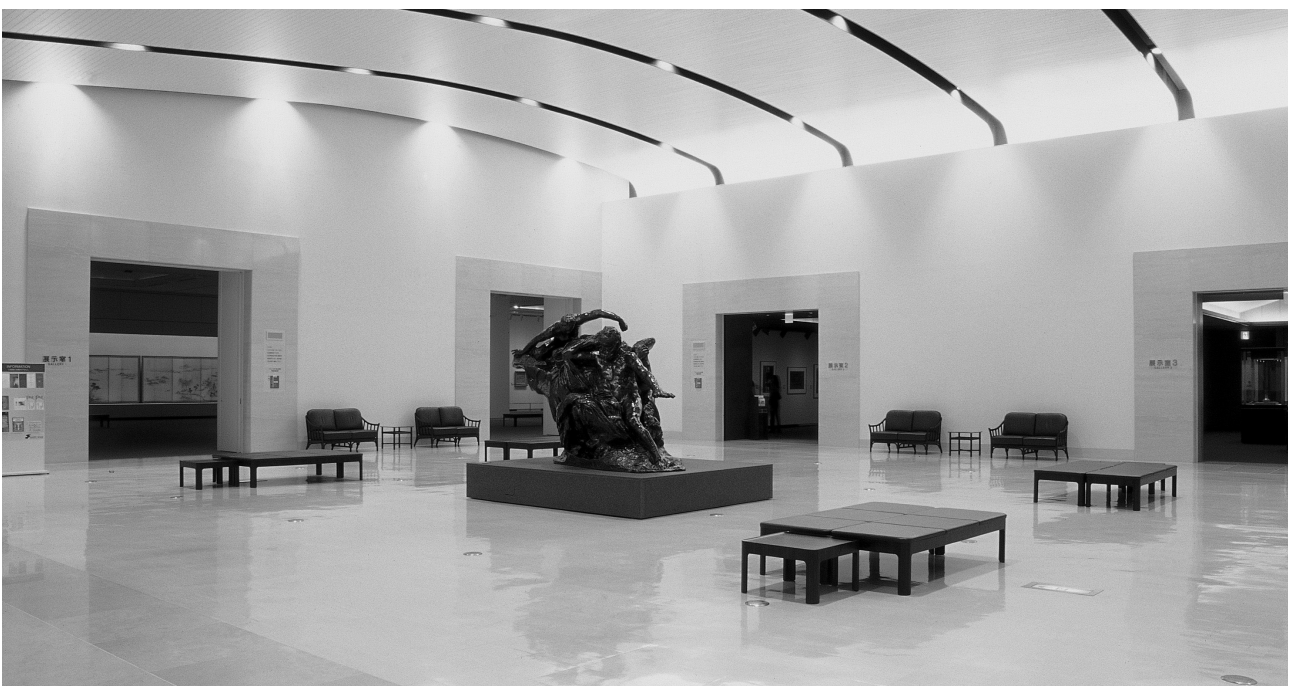
経 緯

平成 3年 1月	博物館整備検討委員による「博物館整備に関する提言」提出
平成 3年 11月	「文化施設整備基本方針」発表
平成 6年 2月	島根県立美術館基本構想制定
平成 6年 10月	島根県立美術館建設委員会設置
平成 6年 11月	設計競技参加10者を選定
平成 7年 4月	美術館建設室設置 (株)菊竹清訓建築設計事務所案を設計競技の最優秀作品に決定
平成 8年 10月	建設着工
平成10年 6月	本体工事竣工
平成11年 3月6日	開館

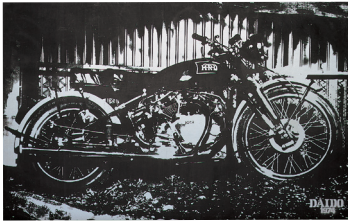
組 織 図



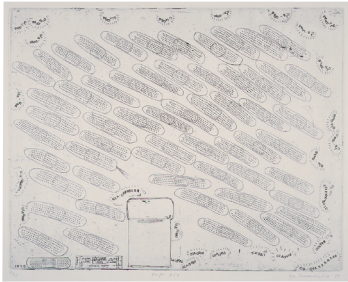
コレクション展



■ コレクション展



森山大道《ヴィンセント・ブラックシャドウ》



山本容子《Papa Aid》



ラファエル・コラン
《エリーズ嬢の肖像》



アレクサンドル・カバネル
《若い男の肖像》



黒田清輝《北尾次郎肖像》



原清《鉄袖草花文大壺》

〈平成16年度〉2004.4~2005.3

展示室1 〈絵画〉	風景画—水彩画を中心に—(日本洋画)	4月27日(火) ~ 7月25日(日)
	洋画の軌跡I—海を渡った画家たち—(日本洋画)	7月27日(火) ~ 10月24日(日)
	フランス近代絵画(西洋絵画)	7月27日(火) ~ 9月 5日(日)
	日本画優品選(日本画)	7月27日(火) ~ 10月24日(日)
	フランス・アカデミズムの絵画(西洋絵画)	9月 7日(火) ~ 12月26日(日)
	小泉 清—小泉八雲没後100年によせて—(日本洋画)	10月26日(火) ~ 1月23日(日)
	日本画優品選(日本画)	10月26日(火) ~ 1月23日(日)
	雲谷派の系譜(日本画特集展示)	11月30日(火) ~ 1月23日(日)
	洋画の軌跡II—写実美の変容—(日本洋画)	1月25日(火) ~ 4月24日(日)
	日本画優品選(日本画)	1月25日(火) ~ 4月24日(日)
展示室2 〈版画〉	広重の名所絵—江戸・京都・諸国—	4月13日(火) ~ 5月 9日(日)
	浮絵と異国絵—江戸の好奇心—	5月11日(火) ~ 6月 6日(日)
	歌川派の絵師たち—豊国・国貞・国芳・広重—	6月 8日(火) ~ 7月 4日(日)
	浮世絵入門	7月 6日(火) ~ 8月 8日(日)
	大正時代のプロマイド—美人画と役者絵—	8月10日(火) ~ 9月20日(日)
	木口木版と銅版画—線で表現した作品を中心に—	9月22日(火) ~ 10月31日(日)
	日本の風景—風景版画の世界—	11月 2日(火) ~ 12月12日(日)
	本と版画の気になる関係	12月14日(火) ~ 1月30日(日)
	版画の技法と表現 I リトグラフ(石版画)	2月 1日(火) ~ 3月13日(日)
	版画の技法と表現 II シルクスクリーン	3月15日(火) ~ 4月24日(日)
展示室3 〈工芸〉	松平不昧と出雲の工芸	4月27日(火) ~ 7月25日(日)
	出雲焼—輸出陶器の時代—	7月27日(火) ~ 10月24日(日)
	島根の工芸 河井寛次郎と民芸	10月26日(火) ~ 1月23日(日) 1月25日(火) ~ 4月24日(日)
展示室4 〈写真〉	ベルナール・フォコンのおはなし	2月 4日(火) ~ 5月 9日(日)
	杉本博司	5月12日(火) ~ 7月11日(日)
	モダン・フォトグラフィ	7月14日(火) ~ 10月 3日(日)
	亀井茲明展関連—19世紀の写真— アメリカの世紀	10月 8日(火) ~ 11月28日(日) 12月 3日(火) ~ 4月 3日(日)
展示室5	現代絵画入門	4月 6日(火) ~ 7月 4日(日)
	木の美術 I —木版画と木彫—	7月 6日(火) ~ 10月 3日(日)
	木の美術 II —遠藤利克と戸谷成雄—	12月 3日(火) ~ 2月20日(日)
	—大名に仕えた画家たち—島根の御用絵師とその周辺	2月24日(火) ~ 4月10日(日)

〈平成17年度〉2005.4~2006.3

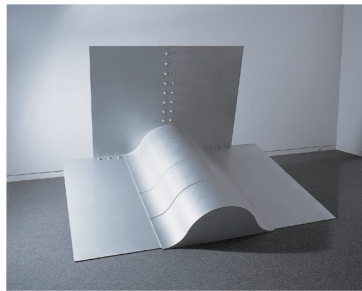
展示室1 〈絵画〉	日本近代洋画のあゆみ I (日本洋画)	4月26日(火) ~ 7月24日(日)
	(西洋絵画)	4月26日(火) ~ 7月24日(日)
	日本画優品選[前期] (日本画)	4月26日(火) ~ 6月 5日(日)
	日本画優品選[後期] (日本画)	6月 7日(火) ~ 7月24日(日)
	文人画—閑雅なる墨美の理想郷—(日本画特集展示)	7月26日(火) ~ 9月 4日(日)
	懐かしい日本の風景(日本洋画)	7月26日(火) ~ 10月23日(日)
	水辺の風景(西洋絵画)	7月26日(火) ~ 10月23日(日)
	日本画優品選(日本画)	9月 6日(火) ~ 10月23日(日)
	日本近代洋画のあゆみ II (日本洋画)	10月25日(火) ~ 1月22日(日)
	19世紀後半のフランス絵画(西洋絵画)	10月25日(火) ~ 1月22日(日)
展示室2 〈版画〉	日本画優品選[前期] (日本画)	10月25日(火) ~ 12月11日(日)
	日本画優品選[後期] (日本画)	12月13日(火) ~ 1月22日(日)
	静物画の世界—洋画にみる静と動—(日本洋画)	1月24日(火) ~ 4月17日(日)
	雄大な風景(西洋絵画)	1月24日(火) ~ 4月17日(日)
	日本画優品選[前期] (日本画)	1月24日(火) ~ 3月 5日(日)
	日本画優品選[後期] (日本画)	3月 7日(火) ~ 4月17日(日)
	北斎—富嶽三十六景—	4月26日(火) ~ 5月29日(日)
	旅する版画家—広重—	5月31日(火) ~ 7月 3日(日)
	涼をもとめて—北斎・広重版画—	7月 5日(火) ~ 8月 7日(日)
	明治・大正の版画	8月 9日(火) ~ 9月11日(日)
展示室3 〈工芸〉	版画の表現と技法	9月13日(火) ~ 10月30日(日)
	大きい版画と小さな版画	11月 1日(火) ~ 12月18日(日)
	古都をめぐる—平塚運—の風景版画—	12月20日(火) ~ 2月26日(日)
	横尾忠則と現代版画	2月28日(火) ~ 4月24日(日)
	島根の漆芸—明治・大正期を中心に—	4月26日(火) ~ 7月24日(日)
展示室4 〈写真〉	松平不昧の世界—茶道具を中心に—	7月26日(火) ~ 10月23日(日)
	出雲焼の変遷—楽山焼・布志名焼—	10月25日(火) ~ 1月22日(日)
	輸出陶器の世界	1月24日(火) ~ 4月17日(日)
	日本のモダニズム	4月 6日(火) ~ 7月 3日(日)
展示室5	奈良原一高・東松照明	7月 6日(火) ~ 10月23日(日)
	新収蔵品展 風景へのまなざし	10月26日(火) ~ 1月15日(日)
	DAIDO EMOTION—森山大道コレクション—	1月18日(火) ~ 4月24日(日)
	麗しの大和撫子—美人画ポスターの世界—	4月12日(火) ~ 5月15日(日)
	アートの韓流—李禹煥と金昌烈—	5月17日(火) ~ 6月12日(日)

※写真は各年度の新収蔵作品(一部)

コレクション展



栗原忠二《ヴェニス》



清水九兵衛《CORRESPONDING FORM 4》



堀江友聲《項羽・劉邦図屏風》



アンリ・ファンタン=ラトゥール《暁と夜》



青木世一《ゴッホ=キット「ゴッホの部屋ver.3」》

〈平成18年度〉2006.4~2007.3

展示室1 〈絵画〉	日本近代洋画の精華Ⅰ(日本洋画)	4月19日(休)~ 7月24日(休)
	描かれた動物たち(西洋絵画)	4月19日(休)~ 7月24日(休)
	日本画優品選[前期](日本画)	4月19日(休)~ 6月 5日(休)
	日本画優品選[後期](日本画)	6月 7日(休)~ 7月24日(休)
	洋画にみる表現-具象と抽象(日本洋画)	7月26日(休)~ 10月23日(休)
	水をながめる(西洋絵画)	7月26日(休)~ 10月23日(休)
	文人画-閑雅なる墨美のユートピア-(日本画)	7月26日(休)~ 9月18日(休)
	日本画優品選(日本画)	9月20日(休)~ 10月23日(休)
	日本近代洋画の精華Ⅱ(日本洋画)	10月25日(休)~ 1月22日(休)
	自然へのあこがれ(西洋絵画)	10月25日(休)~ 1月22日(休)
	日本画優品選[前期](日本画)	10月25日(休)~ 12月11日(休)
	日本画優品選[後期](日本画)	12月13日(休)~ 1月22日(休)
	油彩画の技法と材料(日本洋画)	1月24日(休)~ 4月16日(休)
	20世紀の幕開け 新しい絵画表現(西洋絵画)	1月24日(休)~ 4月16日(休)
	日本画優品選[前期](日本画)	1月24日(休)~ 3月 5日(休)
	日本画優品選[後期](日本画)	3月 7日(休)~ 4月16日(休)

展示室2 〈版画〉	画狂人 葛飾北斎の造形力-富嶽三十六景を中心に-	4月26日(休)~ 5月29日(休)
	-浮世絵風景版画の代表作-歌川広重の東海道五拾三次	5月31日(休)~ 6月26日(休)
	浮世絵にみる風俗-江戸時代の暮らし-	6月28日(休)~ 7月31日(休)
	小林清親 明治の光線画	8月 2日(休)~ 9月 4日(休)
	黒の誘惑	9月 6日(休)~ 10月23日(休)
	版画家 池田満寿夫	10月25日(休)~ 12月11日(休)
	年賀状は版画で-版画家の年賀状-	12月13日(休)~ 1月29日(休)
	木版画の世界-木口木版と板目木版-	1月31日(休)~ 3月12日(休)
	シルクスクリーン-色彩ゆたかな版画-	3月14日(休)~ 4月23日(休)

展示室3 〈工芸〉	茶道具優品選	4月19日(休)~ 7月31日(休)
	没後40年 河井寛次郎Ⅰ	8月 2日(休)~ 10月30日(休)
	しまねの陶芸-江戸時代から現代まで-	11月 1日(休)~ 1月29日(休)
	没後40年 河井寛次郎Ⅱ	1月31日(休)~ 4月23日(休)

展示室4 〈写真〉	PHOTO ZOO-写真動物園へようこそ-	4月27日(休)~ 8月 7日(休)
	自然に帰れ	8月10日(休)~ 11月20日(休)
	黒の魅惑	11月23日(休)~ 2月19日(休)
	絵画への憧憬	2月22日(休)~ 5月21日(休)

展示室5	木で作った彫刻たちⅠ 追悼 建島覚造	4月26日(休)~ 6月26日(休)
	木で作った彫刻たちⅡ	6月28日(休)~ 8月21日(休)
	西洋絵画新収蔵品展	8月24日(休)~ 11月27日(休)
	郷土を愛した画家 草光信成	11月30日(休)~ 3月 5日(休)
	版画優品選	3月 7日(休)~ 4月16日(休)

〈平成19年度〉2007.4~2008.3

展示室1 〈絵画〉	日本近代洋画のきらめきⅠ(日本洋画)	4月18日(休)~ 7月 9日(休)
	空をながめる(西洋絵画)	4月18日(休)~ 7月23日(休)
	日本画優品選[前期](日本画)	4月18日(休)~ 5月28日(休)
	日本画優品選[後期](日本画)	5月30日(休)~ 7月 9日(休)
	或る風景(日本洋画)	7月11日(休)~ 10月22日(休)
	水のある風景(西洋絵画)	7月25日(休)~ 9月17日(休)
	日本画優品選[前期](日本画)	7月11日(休)~ 9月 3日(休)
	日本画優品選[後期](日本画)	9月 5日(休)~ 10月22日(休)
	日本近代洋画のきらめきⅡ(日本洋画)	10月24日(休)~ 1月21日(休)
	人を描く(西洋絵画)	9月19日(休)~ 1月21日(休)
	日本画優品選[前期](日本画)	10月24日(休)~ 11月26日(休)
	日本画優品選[後期](日本画)	11月28日(休)~ 1月21日(休)
	人物表現の魅力(日本洋画)	1月24日(休)~ 4月14日(休)
	美術と<イズム>(西洋絵画)	1月24日(休)~ 4月14日(休)
	日本画優品選[前期](日本画)	1月24日(休)~ 3月 3日(休)
	日本画優品選[後期](日本画)	3月 5日(休)~ 4月14日(休)

展示室2 〈版画〉	葛飾北斎の世界-代表作「富嶽三十六景」を中心に-	4月25日(休)~ 5月21日(休)
	歌川広重の世界-代表作「東海道五拾三次」を中心に-	5月23日(休)~ 6月25日(休)
	街道、名所を旅する-浮世絵にみる江戸時代の風景-	6月27日(休)~ 7月23日(休)
	浮世絵にみる美人・役者・祭...	7月25日(休)~ 9月10日(休)
	大正の新版画	9月12日(休)~ 10月29日(休)
	ふるさとの風景	10月31日(休)~ 12月 3日(休)
	平塚運一のコマ絵-小さな版画の魅力-	12月 5日(休)~ 2月18日(休)
	現代の銅版画	2月22日(休)~ 4月21日(休)

展示室3 〈工芸〉	館蔵品にみる 布志名焼の変遷	4月25日(休)~ 8月 6日(休)
	河井寛次郎と民芸運動	8月 8日(休)~ 11月 5日(休)
	島根の漆芸-明治・大正期を中心に-	11月 7日(休)~ 2月 4日(休)
	意匠を楽しむ	2月 6日(休)~ 4月14日(休)

展示室4 〈写真〉	CHAOS-森山大道コレクション	5月24日(休)~ 8月27日(休)
	パリの異邦人	8月30日(休)~ 11月26日(休)
	雪・月・花-写真俳句論-	11月29日(休)~ 2月18日(休)
	パリ-ニューヨーク	2月22日(休)~ 5月19日(休)

展示室5	島根の近代木彫	4月18日(休)~ 8月 6日(休)
	エロス-没後10年 池田満寿夫展	8月 8日(休)~ 10月15日(休)
	現代彫刻考-木を刻む・戸谷成雄の世界-	10月17日(休)~ 12月27日(休)
	没後30年 矢田清四郎展	1月 2日(休)~ 2月18日(休)
	オマーージュ・ウォール	2月21日(休)~ 5月19日(休)

コレクション展



ギュスターヴ・ドレ・イーノドⅡ
《「王の牧歌」より》



石橋和訓《鯉の図》



加納光於・大岡信
《アララットの船あるいは空の蜜》

〈平成20年度〉2008.4~2009.3

展示室1 〈絵画〉	日本画優品選[中期] (日本画)	4月16日(休) ~ 5月26日(月)
	近代洋画の軌跡Ⅰ-小特集 小泉清-(日本洋画)	4月16日(休) ~ 7月14日(月)
	色のはなし(西洋絵画)	4月16日(休) ~ 7月7日(月)
	日本画優品選[後期] (日本画)	5月28日(休) ~ 7月14日(月)
	文人画-山水に浮かれた閑雅なる世界-中期 (日本画:特集展示)	7月16日(休) ~ 8月25日(月)
	日本画優品選[前期] (日本画)	8月27日(休) ~ 10月13日(月祝)
	近代洋画の軌跡Ⅱ-小特集 石橋和訓-(日本洋画)	7月16日(休) ~ 10月13日(月祝)
	フランス風景画の革新者たち(西洋絵画)	7月9日(休) ~ 10月6日(月)
	日本画優品選[後期] (日本画)	10月15日(休) ~ 12月1日(月)
	日本画優品選[前期] (日本画)	12月3日(休) ~ 1月19日(月)
	近代洋画名品選Ⅰ (日本洋画)	10月15日(休) ~ 1月19日(月)
	人と動物(西洋絵画)	10月8日(休) ~ 1月19日(月)
	日本画優品選[中期] (日本画)	1月21日(休) ~ 2月23日(月)
	日本画優品選[後期] (日本画)	2月25日(休) ~ 4月13日(月)
近代洋画名品選Ⅱ (日本洋画)	1月21日(休) ~ 4月13日(月)	
19世紀-美の闘争(西洋絵画)	1月21日(休) ~ 5月25日(月)	

展示室2 〈版画〉	《富嶽三十六景》と『北斎漫画』	4月23日(休) ~ 5月19日(月)
	歌川広重(東海道五十三次)名品選	5月21日(休) ~ 6月23日(月)
	光と影-小林清親の世界	6月25日(休) ~ 8月4日(月)
	新版画の美と粋	8月6日(休) ~ 9月23日(月祝)

平塚運一の視線Ⅰ	9月25日(休) ~ 11月3日(月祝)
平塚運一の視線Ⅱ	11月5日(休) ~ 12月21日(月)
浮世絵にみる江戸の夕暮れ	12月23日(月祝) ~ 1月26日(月)
異国へのまなざし-浮世絵と長崎版画を中心に	1月28日(休) ~ 3月2日(月)
水面にうつる浮世絵の世界	3月4日(休) ~ 3月30日(月)

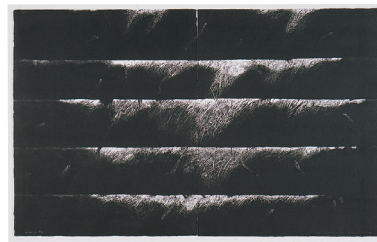
展示室3 〈工芸〉	松平不昧の世界-茶道具を中心に-	4月16日(休) ~ 7月14日(月)
	しまねのやきもの-造形と釉薬のわざ-	7月16日(休) ~ 10月13日(月祝)
	島根の漆芸-小島漆壺斎、勝軍木庵の系譜	10月15日(休) ~ 1月12日(月)
民芸のうつわ	1月14日(休) ~ 4月20日(月)	

展示室4 〈写真〉	奈良原一高《王国》	5月22日(休) ~ 8月25日(月)
	子どもの情景-ベルナルド・フォコン	8月28日(休) ~ 11月10日(月)
	黒と白で-山陰の写真家たち	11月13日(休) ~ 2月16日(月)
開館10周年記念-写真コレクション選	2月19日(休) ~ 5月18日(月)	

展示室5	新収蔵 清水九兵衛	5月22日(休) ~ 8月18日(月)
	青木世一 わーど	8月21日(休) ~ 12月25日(月)
	しまねの木彫-木に魅せられて-	1月2日(休) ~ 2月23日(月)
	開館10周年記念展 アカデミスムか?印象派か? フランス絵画の19世紀-美をめぐる100年のドラマ-	3月6日(休) ~ 5月31日(月)

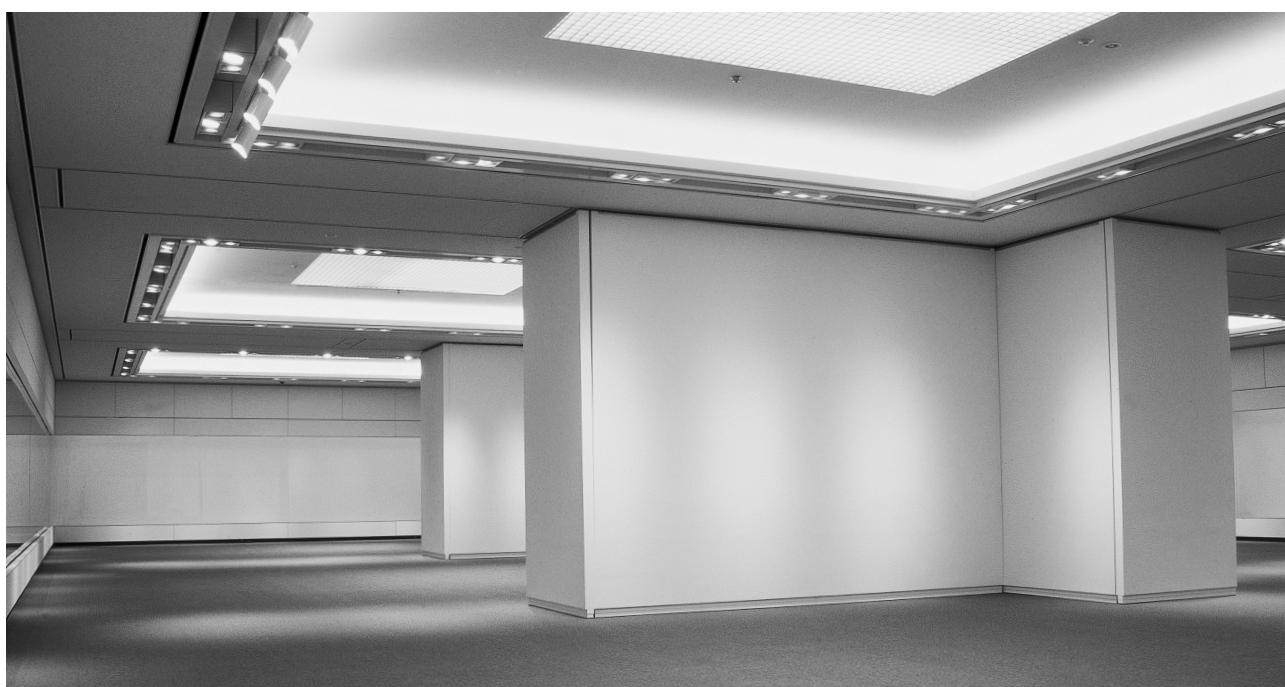


矢田清四郎《支那服の少女》



中林忠良《転位 92-地-I》

企 画 展



〈平成16年度〉2004.4 - 2005.3

昭和前期の洋画 1923-1945 展



■ 2004年4月23日(金)~5月30日(日)

1923年の関東大震災から1945年の終戦までを昭和前期と捉え、激動の時代を背景にした芸術の動向を紹介。藤島武二、佐伯祐三、松本竣介、安井曾太郎、梅原龍三郎など、名だたる洋画家の名品が一堂に会した。

主催／島根県立美術館
 観覧者数／8,364人(開催日数34日)
 記念講演会／「昭和前期の洋画」
 〈講師〉副島三喜男(当館館長)
 4月25日(日)
 ギャラリートーク／担当学芸員による作品解説。会期中5回。
 関連イベント／「子どものためのギャラリー・トーク」
 5月の毎週土曜日全5回
 主な展示作品／安井曾太郎《婦人像》京都国立近代美術館蔵
 藤島武二《耕到天》財団法人大原美術館蔵
 佐伯祐三《ラ・クロッシュ》静岡県立美術館蔵



会場風景

魂の詩 出光コレクション ジョルジュ・ルオー展



■ 2004年6月11日(金)~7月19日(月・祝)

フランスの画家ジョルジュ・ルオーは、信仰に裏付けられた深い精神性と、親しみ易さを併せもった人間像で多くの人々を魅了し続けてきた。世界有数のルオーコレクションを誇る出光美術館の所蔵品の中から、初期から晩年までの油彩約110点、水彩など約30点、版画約80点による総計約220点の作品を集め、ルオーの画業をたどる。

主催／島根県立美術館、NHK松江放送局
 NHKちゅうごくソフトプラン
 観覧者数／11,158人(開催日数34日)
 記念講演会／「出光美術館のルオー・コレクションについて」
 〈講師〉後藤新治(西南学院大学教授)
 6月20日(日)
 ギャラリートーク／担当学芸員による作品解説。会期中4回。
 関連イベント／「オープンスタジオ ステンドカラーでピエロを描こう」
 7月3日(土)、4日(日)、10日(土)、11日(日)
 主な展示作品／ジョルジュ・ルオー《小さな家族》、
 《たそがれ、あるいはイルド・フランス》、
 《受難》シリーズ いずれも
 出光美術館蔵



会場風景

京都国立近代美術館所蔵 日本画名品展 京都・近代日本画のきらめき 竹内栖鳳、上村松園、小野竹喬、福田平八郎…



■ 2004年7月30日(金)～8月29日(日)

京都国立近代美術館の日本画コレクションの中から、京都画壇を代表する55作家、69点の作品を展示。巨匠たちの優美な作品を中心に、大正期のデカダン(退廃的)な作品、戦後の前衛的な作品等も併せて紹介した。

主催／島根県立美術館、京都国立近代美術館、山陰中央新報社
 観覧者数／9,239人(開催日数28日)
 記念講演会／「京都・近代日本画の魅力」
 〈講師〉島田康寛(京都国立近代美術館学芸課長)
 8月7日(土)
 ギャラリートーク／担当学芸員による作品解説。会期中4回。
 主な展示作品／上村松園〈虹を見る〉、土田麦僊〈罰〉、小野竹喬〈奥の細道句抄絵 暑き日を海にいれたり最上川〉 いずれも京都国立近代美術館蔵



会場風景

徳川美術館名品展 姫君の華麗なる日々



■ 2004年9月10日(金)～10月11日(月)

江戸の徳川家に次いで格式を誇った尾張徳川家に伝来の美術工芸を所蔵する徳川美術館から、歴代の姫君が使用した家具、調度品をはじめ、婚礼道具などを展示し、その華麗な暮らしと大名文化の一端を紹介した。

主催／島根県立美術館、山陰中央テレビ、徳川美術館、朝日新聞社
 観覧者数／28,383人(開催日数28日)
 記念講演会／「千代姫婚礼調度を読み解く」
 〈講師〉山本泰一(徳川美術館副館長)
 9月19日(日)
 ギャラリートーク／担当学芸員による作品解説。会期中2回。
 主な展示作品／〈葵紋蜀江蒔絵貝桶(聖徳院従姫所用)〉、〈牡丹唐草蒔絵乗物〉、〈内裏雛飾り〉、〈白輪子地鼓に藤・杜若文小袖(貞徳院矩姫所用)〉、〈葵紋散蒔絵化粧道具一式〉、〈菊折枝蒔絵廻り香炉(俊徳院福姫所用)〉 いずれも徳川美術館蔵



〈国宝 初音蒔絵眉作箱〉徳川美術館蔵

第37回 島根県総合美術展〈県展〉

■ 2004年11月13日(土)～11月23日(火)

主催／島根県文化団体連合会

第51回 日本伝統工芸展 —人間国宝から新進作家まで—



■ 2004年12月8日(水)～12月23日(木)祝

本展は、日本の風土がはぐくんだ優れた工芸技術の保護育成を目的に昭和29年創設。陶芸・染織・漆芸・金工・木竹工・人形・諸工芸の7部門で、厳正な審査を通過した作品が全国11会場を巡回した。3回目となる松江展では、重要無形文化財保持者(人間国宝)38名をはじめ、受賞作品、山陰在住作家5名の入選作品を含む295点を展示した。

主催／島根県文化振興財団、島根県
島根県立美術館、島根県教育委員会
NHK松江放送局、朝日新聞社
山陰中央新報社、(社)日本工芸会

観覧者数／8,109人(開催日数13日)

記念講演会／「備前焼のころ」
(講師)伊勢崎 淳[陶芸・重要無形文化財
保持者(人間国宝)]
12月11日(出)

ギャラリートーク／出品作家による解説を計8回実施。
(講師)吉田美統(陶芸・人間国宝)、白幡 明(諸
工芸)、中川 衛(金工・人間国宝)、秋山信子(人
形・人間国宝)、森口邦彦(染織)、中川清司(木
竹工・人間国宝)、室瀬和美(漆芸)、山本浩彩
(陶芸・鳥取県)。

関連イベント／子ども鑑賞コース1「作家による子どものための
出張授業〈焼き物ってなに〉」
12月1日(水)〈講師〉犬山卓也、柳楽勝重(共に陶芸作家)
子ども鑑賞コース2「作家による子どものための出張授業〈七宝ってなに〉」
12月2日(木)〈講師〉菅坂安子(七宝作家)
子ども鑑賞コース3「作家による子どものための解説会—漆芸について」
12月17日(金)〈講師〉高橋香葉(漆芸作家)
作家関連ビデオ上映(会期中) 他



日本工芸会総裁賞【染織】 細織着物
「初雪の朝」山下郁子

遙かなるシルクロード 洛陽の夢 唐三彩展



■ 2005年1月2日(日)～2月27日(日)

唐三彩は、中国・唐時代に河南省と陝西省を中心に作られた緑色、褐色、藍色などの色彩豊かな焼きもので、王侯や貴族の副葬品であった。本展では、最近の研究を基に唐三彩の誕生と展開の謎に迫った。中国の一級文物など118点を展示。

主催／島根県立美術館、朝日新聞社
河南省文物管理局

観覧者数／8,378人(開催日数50日)

記念講演会／「唐三彩の謎を解く」
(講師)森 達也(愛知県陶磁資料館
主任学芸員)
1月30日(日)

ギャラリートーク／担当学芸員による作品解説。会期中
2回。

関連イベント／「唐三彩にチャレンジ! フィギュア
を作ろう」
2月6日(日)、20日(日)、27日(日)

主な展示作品／《緑褐袖桃都樹》西漢後期 河南博物
物院蔵、《三彩鎮墓獸》唐 洛陽博物
館蔵、《三彩駱駝・三彩牽駝俑》唐
洛陽博物館蔵、《三彩灯》唐 洛陽博物館蔵、《三彩舍利塔》北宋 河南博物院蔵



《三彩有蓋三足壺》鞏義市博物館蔵(中国)

〈平成17年度〉2005.4 - 2006.3

開館6周年記念展 フランス国立ギュスターヴ・モロー美術館所蔵 ギュスターヴ・モロー展



■ 2005年3月19日(土)～5月22日(日)

象徴主義の先駆者として知られるフランスの画家ギュスターヴ・モローは、きらびやかな色彩を用いながら、神話や宗教的な主題を古典の枠組みから抜け出した極めて独創的なイメージを生み出した。本展では、モローが作品と邸宅をフランス国家に遺贈し開館したギュスターヴ・モロー美術館の珠玉の作品群を一堂に紹介した。

主催／島根県立美術館、NHK松江放送局
山陰中央新報社

観覧者数／21,487人(開催日数57日)

記念講演会／〈講師〉木島俊介(共立女子大学教授)
4月10日(日)

ギャラリートーク／担当学芸員による作品解説。会期中6回。

関連イベント／「名曲で飾るロビーコンサート」

3月27日(日)

「モローが描く世界に親しもう 物語とぬり

えの部屋(おはなし会、わくわく水彩技法)」

4月29日(金・祝)、5月1日(日)、3日(火・祝)、

4日(水・祝)、5日(木・祝)、8日(日)、15日(日)、22日(日)

主な展示作品／ギュスターヴ・モロー〈一角獣〉、〈出現〉、〈ヘラクレスとレルネのヒュドラ〉 いずれもギュスターヴ・モロー美術館蔵



会場風景

若冲と琳派 —きらめく日本の美— 細見美術館コレクションより



■ 2005年6月3日(金)～7月10日(日)

細見美術館(京都市左京区)のコレクションから、鶏図を最も得意とした奇想の画家伊藤若冲、華やかな装飾美にあふれる琳派の作家たちの優品をセレクト、釘隠などの七宝作品もあわせた合計104点を展示した。

主催／島根県立美術館

観覧者数／9,674人(開催日数33日)

記念講演会／「細見コレクションの若冲について」
〈講師〉狩野博幸(京都国立博物館文化資料課長)
6月19日(日)

ギャラリートーク／担当学芸員による作品解説。会期中4回。

関連イベント／オープスタジオ「団扇に描く」

7月3日(日)、10日(日)

「箔押し体験」

6月12日(日)

「ロビーコンサート」

6月26日(日)

主な展示作品／伊藤若冲〈雪中雄鶏図〉、「伊年」印〈四季草花図屏風〉、酒井抱一〈桜に小禽図〉 いずれも細見美術館蔵



会場風景

サントリー美術館名品展 日本美術の精華



■ 2005年7月22日(金)～8月28日(日)

「生活の中の美」に着目し、日本の古美術の収集で日本有数のコレクションを誇るサントリー美術館。その所蔵品から暮らしを彩る絵画や工芸品など国宝・重文を含む141点の展示により、時代や場所、季節を反映する日本美術の特質を考えた。

主催／島根県立美術館
 観覧者数／11,722人(開催日数33日)
 記念講演会／「南蛮の美」
 〈講師〉河野元昭(東京大学教授)
 7月31日(日)
 ギャラリートーク／担当学芸員による作品解説。会期中4回。
 関連イベント／「くるくる作る! かんたんブチ絵巻」
 7月23日(土)、24日(日)、8月13日(土)、14日(日)、15日(月)、20日(土)、27日(土)、28日(日)
 「南蛮美術と食文化～こんべいとう実演～」8月21日(日)
 「星に願いを2005」7月5日(火)～8月28日(日)



《重文 泰西王侯騎馬図屏風》(部分)(四曲一雙の内)サントリー美術館蔵

主な展示作品／国宝《浮線椀螺鈿時絵手箱》鎌倉時代、重文 伝土佐広周《四季花鳥図屏風》室町時代、重文《桐竹鳳凰時絵文台及硯箱》桃山時代、重文 伝狩野山楽《南蛮屏風》桃山時代、重文 尾形乾山《染付金彩芒文蓋物》江戸時代 いずれもサントリー美術館蔵

ミュシャ財団秘蔵 ミュシャ展 プラハからパリへ 華麗なるアール・ヌーヴォーの誕生



■ 2005年9月16日(金)～11月6日(日)

アール・ヌーヴォーの立役者アルフォンス・ミュシャ。チェコ出身の彼は波打つような曲線と華やかな色彩で優美な女性たちを描き出し、1900年前後のパリで一世を風靡した。本展では、そのような華やかな側面だけでなく、彼の祖国への思いが感じられる作品なども紹介し多様なミュシャ像を浮かび上がらせた。ロンドンにあるミュシャ財団の全面的な協力を得て開催された。

主催／島根県立美術館、ミュシャ財団
 日本海テレビ、NTVヨーロッパ
 読売新聞社
 観覧者数／31,093人(開催日数45日)
 記念講演会／「アール・ヌーヴォーから祖国愛の画家へ：ミュシャの生涯と芸術」
 〈講師〉千足伸行(成城大学教授)
 9月25日(日)
 ギャラリートーク／担当学芸員による作品解説。会期中8回。
 関連イベント／「アール・ヌーヴォーの香り」
 9月18日(日)
 映画上映会「フレンチ・カンカン」10月2日(日)
 「名曲で飾るロビーコンサート」10月23日(日)
 主な展示作品／アルフォンス・ミュシャ『ジスモンダ』のポスター、《百合の聖母》、《ボヘミアの唄》 いずれもミュシャ財団蔵



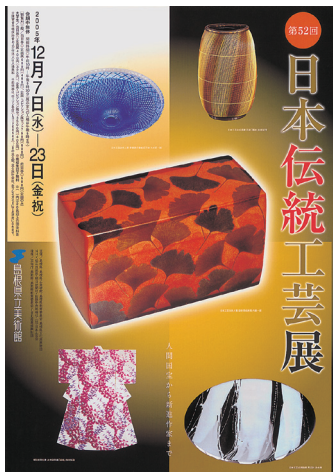
会場風景

第38回 島根県総合美術展〈県展〉

■ 2005年11月19日(土)～11月27日(日)

主催／島根県文化団体連合会

第52回 日本伝統工芸展 —人間国宝から新進作家まで—



■ 2005年12月7日(水)～12月23日(金)祝

本展は、日本の風土がはぐくんだ優れた工芸技術の保護育成を目的に昭和29年創設。陶芸・染織・漆芸・金工・木竹工・人形・諸工芸の7部門で、厳正な審査を通過した作品が全国11会場を巡回した。4回目となる松江展では、重要無形文化財保持者(人間国宝)41名をはじめ、受賞作品、山陰在住作家7名の入選作品を含む292点を展示した。

主催／島根県、島根県立美術館、島根県教育委員会
島根県文化振興財団、NHK松江放送局

朝日新聞社、山陰中央新報社、(株)日本工芸会

観覧者数／6,201人(開催日数17日)

記念講演会／「やきものと私」

〈講師〉原 清〔陶芸・重要無形文化財保持者(人間国宝)・島根県出身〕

12月10日(土)

ギャラリートーク／出品作家による解説を計6回実施。

〈講師〉岡田 裕(陶芸)、室瀬和美(漆芸)、白幡 明

(諸工芸)、佐々木苑子(染織・人間国宝)、中川 衛

(金工・人間国宝)、中川清可(木竹工・人間国宝)

関連イベント／子ども鑑賞コース1「作家による子どものための出張授業(絵漆)」

11月12日(土) 〈講師〉高橋香葉(漆芸作家)

子ども鑑賞コース2「作家による子どものための作品鑑賞(陶芸)」

12月13日(火) 〈講師〉山本浩彩(陶芸作家)

子ども鑑賞コース3「作家による子どものための制作体験と作品鑑賞(ハンカチ染め)」

12月15日(木) 〈講師〉福井 禎(染織作家)

作家関連ビデオ上映(会期中)



子ども鑑賞ガイド

スイス・スピリッツ —山に魅せられた画家たち—



■ 2006年1月2日(月)～2月24日(金)

スイスの最も典型的なモチーフである「山=アルプス」を取り上げ、18世紀末から今日までのスイス美術を展観した。本展は、日本においてスイスの現代文化を紹介する「0406 スイス・コンテンポラリー・アート・イン・ジャパン」の一環として、スイス・プロ・ヘルヴェティア文化財団とアールガウ州の協力により開催された。

主催／島根県立美術館
アールガウ州立美術館
読売新聞大阪本社
NHK松江放送局

観覧者数／9,122人(開催日数47日)

記念講演会／「スイスの山の楽しさ」

〈講師〉池内 紀(ドイツ文学者・エッセイスト)

1月29日(日)

ギャラリートーク／担当学芸員による作品解説。会期中7回。

関連イベント／「子ども上映会&アルペンホルンでスイス気分」 1月15日(日)

「オープンスタジオ 冬のゆらゆらモバイルづくり」 1月22日(日)

「オープンスタジオ スイスカラーのとびだすカード」 2月11日(土)、12日(日)

「バレンタイン スイス オルゴールコンサート」 2月12日(日)

主な展示作品／ジョヴァンニ・セガンティーニ《アルプスの真昼》 セガンティーニ美術館蔵、フェルディナント・ホドラー《ホイシュトリッヒから見たニーセン山》 アールガウ州立美術館蔵、エルンスト・ルートヴィヒ・キルヒナー《ヴィーゼン近くの橋》 キルヒナー美術館蔵



会場風景

〈平成18年度〉2006.4 - 2007.3

岡本太郎展 — 芸術に挑んだ親子・かの子、一平、太郎。 —



■ 2006年3月4日(土)～4月9日(日)

絵画・彫刻・写真・デザイン等多彩な分野で才能を発揮した岡本太郎。戦後、前衛芸術家として活躍した太郎は、既成の概念にとらわれない新たな創造芸術の世界を築いた。本展では作品を通じて鮮烈なメッセージ性とその魅力を紹介。また両親、かの子・一平の資料を交えた全191点から、芸術に挑んだ親子の軌跡をたどった。

主催／島根県立美術館
川崎市岡本太郎美術館
山陰中央テレビ
観覧者数／27,949人(開催日数34日)
記念講演会／「岡本太郎の人となりと職業」
(講師) 村田慶之輔 (川崎市岡本太郎美術館長)
3月12日(日)
ギャラリートーク／担当学芸員による展示解説。会期中6回実施。
関連イベント／「開会式」3月4日(土)
ワークショップ「太郎に挑戦！
爆発オブジェをつくろう」
3月4日(土)、5日(日) (講師) 石上城行 (島根大学准教授)
映画上映会「宇宙人東京に現わる」3月21日(火・祝)
撮影会「太郎になろう！」3月26日(日)
主な展示作品／岡本太郎〈傷ましき腕〉、《夜》、岡本一平〈チャップリン〉 いずれも川崎市岡本太郎美術館蔵



鑑賞ガイド

第37回 日展

■ 2006年4月22日(土)～5月14日(日)

主催／山陰中央新報社、社団法人日展、島根県立美術館

ミッフィー展 — 50 years wity miffy —



■ 2006年5月26日(金)～7月10日(日)

「いわさきちひろ展(平成13年度)」に続く絵本展として開催。シンプルで優れたグラフィック・デザインで世界的に知られるディック・ブルーナの作品より、最も人気の高いミッフィーに焦点を絞った構成。原画・スケッチ・印刷原稿・映像など約250点によりその50年間の変遷を紹介した。

主催／島根県立美術館、山陰中央テレビ
朝日新聞社、SPSしまね
観覧者数／45,311人(開催日数40日)
関連イベント／「開会式」5月26日(金)
「ミュージアム・フェスティバル2006」
5月28日(日)
「ハッピーバースデーミッフィー」
6月21日(水)～開幕まで
「ミッフィーをつくろう」
6月11日(日)、18日(日)、25日(日)
主な展示作品／ディック・ブルーナ《「ちいさなうさこちゃん」初版本(日本未刊行)》、
《「ちいさなうさこちゃん」(第2版)原画》、
《「うさこちゃんのはたけ」原画》 いずれも作家蔵



ミッフィー展開会式(白湯保育所のみなさん)

近代日本画の巨匠 生誕120年 前田青邨展 —匂い立つ典雅なる気品—



■ 2006年7月22日(土)～8月27日(日)

「生誕100年 橋本明治展」に続く近代日本画の巨匠を紹介した回顧展。日本美術院の重鎮として日本画壇をリードし続けた前田青邨の作品を、院展出品作を中心に本画85点、デッサン13点展示した。岐阜県美術館を幹事館とし、浜松市美術館、当館の3館共同で準備。

主催／島根県立美術館、日本海テレビ
観覧者数／11,189人(開催日数32日)

記念講演会／「青邨芸術の魅力—多様なモチーフを支える技巧と知性—」
〈講師〉上岡四郎(笠岡市立竹喬美術館副館長)
8月6日(日)

ギャラリートーク／担当学芸員による展示解説。会期中5回実施。

関連イベント／「開会式」7月22日(土)
ワークショップ「日本画材料実験室」7月29日(土)
〈講師〉橋本弘安(日本画家・女子美術大学教授)
「ヘアで120歳無料ご招待デー」8月5日(土)
コンサート「祇園精舎の鐘の声～平家琵琶の夕べ」8月19日(土)

主な展示作品／前田青邨《洞窟の頼朝》大倉集古館蔵、〈観画〉京都市美術館蔵、〈知盛幻生〉個人蔵



ワークショップ「日本画材料実験室」

田園への誘い—バルビゾン派を中心に 山寺・後藤美術館所蔵ヨーロッパ絵画名作展



■ 2006年9月6日(水)～11月6日(月)

山寺・後藤美術館(山形市)のコレクションのなかから、バルビゾン派を中心としたヨーロッパ近代絵画の優品86点を紹介した。ミレー、ルソー、トロワイヨンら同派の作品だけでなくコロー、クールベら巨匠たちの風景画も展示。また、18世紀の宮廷絵画や19世紀のアカデミズムの画家たちが描く華やかな人物画を紹介した。

主催／島根県立美術館、山陰中央新報社
観覧者数／16,068人(開催日数54日)

記念講演会／「バルビゾン派の魅力—農民画と田園風景—」
〈講師〉島田紀夫(ブリヂストン美術館長)
10月9日(月祝)

ギャラリートーク／担当学芸員による展示解説。会期中8回実施。

関連イベント／「開会式」9月6日(水)
オープスタジオ「水辺のスケッチ」
9月17日(日)、18日(月祝)
映画上映会「バルヴィル・ランデブー」10月22日(日)

主な展示作品／コンスタン・トロワイヨン《小川で働く人々》、ジャン＝バティスト＝カミュ＝コロエ《サン＝ニコラ＝レ＝ザラスの川辺》、ヤコブ・ファン・ロイスダール《小川と森の風景》 いずれも山寺・後藤美術館蔵



会場風景

第39回 島根県総合美術展〈県展〉

■ 2006年11月18日(土)～11月26日(日)

主催／島根県文化団体連合会

第53回 日本伝統工芸展 —人間国宝から新進作家まで—



■ 2006年12月6日(水)～12月23日(土)祝

本展は、日本の優れた工芸技術の保護育成を目的に昭和29年創設。陶芸・染織・漆芸・金工・木竹工・人形・諸工芸の7部門で、厳正な審査を通過した作品が全国12会場で展覧された。5回目となる松江展では、人間国宝41名をはじめ、地元山陰在住作家8名の入選作品を含む293点を展示した。

主催／島根県立美術館
島根県教育委員会
島根県文化振興財団
NHK松江放送局、朝日新聞社
山陰中央新報社、(社)日本工芸会
観覧者数／8,359人(開催日数18日)
記念講演会／「漆芸の古典と創作 一国宝〈秋野鹿時絵手箱〉(出雲大社蔵)の修理・復元模造で学んだこと」
北村昭彦[螺鈿・重要無形文化財保持者(人間国宝)]
12月10日(日)



会場風景

ギャラリートーク／各分野の出品作家による展示解説。会期中6回実施。
〈講師〉前田昭博(陶芸・鳥取県)、福井 禎(染織・鳥取県)、山口松太(漆芸)、江里佐代子(諸工芸・人間国宝)、脇坂春斎(木竹工・島根県)、鈴田滋人(染織)。
関連イベント／「開会式」12月6日(水)
子ども鑑賞コース1「作家による子どものための出張授業(絵漆)」11月15日(水)・29日(水)
〈講師〉高橋香葉(漆芸作家)
子ども鑑賞コース2「作家による子どものための制作体験(スカーフ染め)」12月13日(水)
〈講師〉永田佳子(染織作家)
子ども鑑賞コース3「作家による子どものための解説会(陶芸)」12月15日(金)
〈講師〉安藤真澄(陶芸作家)

版画の国日本 没後10年 平塚運一展

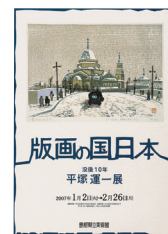


■ 2007年1月2日(火)～2月26日(月)

日本の版画界に大きな影響をもたらした平塚運一の没後10年を記念して、その画業を回顧した。木版画に魅せられ、初期の多色摺り作品から、黒と白だけで表現された平塚版画の完成へと向かう過程を追った展覧会。当館コレクションを中心に、松江市・松江商業高等学校等の出品協力を得た。

主催／島根県立美術館
観覧者数／11,088人(開催日数49日)
記念講演会／「生涯『創作版画家』平塚運一」
〈講師〉松山龍雄(季刊「版画芸術」編集顧問)
1月21日(日)
ギャラリートーク／担当学芸員による展示解説。会期中9回。
関連イベント／「開運!? 運一おみくじ」
1月2日(火)～おみくじがなくなり次第終了
「彫らずに出来るカンタンゆるベタ版画」
1月13日(土)、14日(日)
大人のための「ブレない」多色木版画体験講座
2月10日(土)～12日(月・祝)
「これも版だ 拓本体験」
2月18日(日)
〈講師〉林健亮(島根県教育庁埋蔵文化財調査センター主幹)

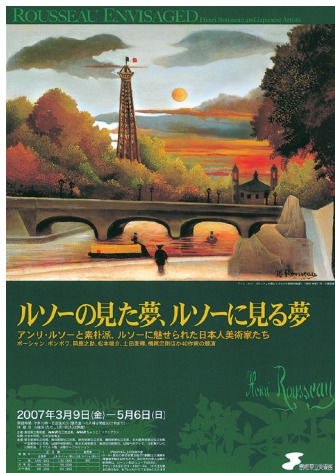
主な展示作品／平塚運一《雪のニコライ》、《松江城天守閣》 いずれも島根県立美術館蔵、《伊豆の段々畑》島根県立松江商業高等学校蔵



パンフレット

〈平成19年度〉2007.4 - 2008.3

ルソーの見た夢、ルソーに見る夢 アンリ・ルソーと素朴派、ルソーに魅せられた日本人美術家たち



■ 2007年3月9日(金)～5月6日(日)

西洋近代美術史において特異な存在であるアンリ・ルソー(1844-1910)。その幻想に満ちた世界は、日本の美術家たちにも多くの影響を与えてきた。この展覧会では、国内に所蔵されているルソーの作品とフランスの素朴派、そしてその影響を受けた日本人美術家たちの作品135点を展示し、その影響関係を探った。

主催／島根県立美術館、NHK松江放送局

NHKちゅうごくソフトプラン

観覧者数／19,005人(開催日数52日)

記念講演会／「アンリ・ルソーの真価」

〈講師〉岡谷公二(美術史家)

3月18日(日)

ギャラリートーク／担当学芸員による展示解説。会期中

6回実施。

関連イベント／ロビーコンサート「ルソーが見た春の夢」

3月10日(土)

〈演奏〉高旗健次(ヴァイオリン) (伴奏:石田美智恵、電子ピアノ)

映画上映会「王と鳥」3月21日(水祝)

ワークショップ「青木制作所:ペーパークラフト 3D絵画入門」、「パラダイス×ルソー ボックス」

3月24日(土)、25日(日) 〈講師〉青木世一(造形作家/本展出品作家)

記念シンポジウム「ルソーと日本」

〈パネリスト〉遠藤 望氏(世田谷美術館企画担当課長)・村上博哉氏(国立西洋美術館学芸課長)・高谷典子(当館学芸グループ課長)

主な展示作品／アンリ・ルソー〈エッフェル塔とトロカデロ宮殿の眺望〉ポーラ美術館蔵、《第22回アンデパンダン展に参加するよう芸術家達を導く自由の女神》東京国立近代美術館蔵



会場風景

有元利夫展 —光と色・思い出を運ぶ人—



■ 2007年5月18日(金)～7月16日(月祝)

小説や雑誌『文藝春秋』の表紙絵などで知られる夭折の画家・有元利夫。フレスコ画やヨーロッパの古典美術を起点に、独自の技法と画面構成であみだした詩的な創作世界を紹介。安井賞特別賞を受賞し、一躍画壇の寵児となった《花降る日》などの絵画の他、素描、版画、立体作品など、あわせて129点を一堂に展示した。

主催／島根県立美術館

観覧者数／8,910人(開催日数52日)

記念講演会／「有元利夫の人と作品」

〈講師〉有元容子(有元利夫夫人、日本画家、実践女子大学教授)

5月27日(日)

「有元利夫の力 —有元作品と宮本輝の小説世界、そして…」

〈講師〉高橋一清(元文藝春秋第一編集局長、松江市観光文化プロデューサー)

6月10日(日)

ギャラリートーク／担当学芸員による展示解説。会期中2回、サンセット・ギャラリートーク(18:00～)1回実施。

関連イベント／ロビーコンサート「花降る音楽」6月17日(日)

〈演奏〉野坂知子(フルート)、代香織(電子チェンバロ)

オープスタジオ「ロマンティック*ブックカバー」7月1日(日)

「ボスター・プレゼント」6月24日(日)

主な展示作品／有元利夫《花降る日》、《厳格なカノン》、《ロンド》 いずれも三番町小川美術館蔵



会場風景

第31回 全国高等学校総合文化祭〈美術・工芸部門〉

■ 2007年7月29日(日)～8月2日(木)

主催／文化庁、社団法人全国高等学校文化連盟、島根県、島根県教育委員会、県内各市町教育委員会、島根県高等学校文化連盟

大正ロマンの美人画家 竹久夢二展 ～夢二郷土美術館コレクションより～



■ 2007年8月10日(金)～9月17日(祝)

大正期の叙情的詩人画家で、大正ロマンの代名詞的存在として広く知られる竹久夢二の作品を、故・松田基氏が収集した夢二郷土美術館(岡山市)のコレクションの中から紹介した。夢二美人の数々を堪能できる日本画作品を中心としながらも、夢二がデザインした装幀本や楽譜、封筒など、様々なジャンルの作品・資料を展示した。

主催／島根県立美術館、日本海テレビ
SPSしまね

観覧者数／21,992人(開催日数35日)

記念講演会／「夢二ロマンとは」

〈講師〉小川晶子(夢二郷土美術館主任学芸員)

8月19日(日)

ギャラリートーク／担当学芸員による展示解説。会期中5回実施。

関連イベント／夏休みアート体験「夢二に挑戦! ポンポン型染め手ぬぐい職人」

8月13日(月)・14日(火)・15日(水)・16日(木)

〈講師〉島根大学教育学部学校教育課程美術教育専攻の学生

映画上映会「夢二映画特集」9月9日(日)

試聴コーナー「オルゴオルで宵待草」 竹久夢二展会期中

主な展示作品／竹久夢二《秋のいこい》、《立田姫》、セノオ楽譜表紙《宵待草》 いずれも夢二郷土美術館蔵



夏休みアート体験「夢二に挑戦! ポンポン型染め手ぬぐい職人」

—モンパルナスに咲いた愛と悲劇— モディリアーニと妻ジャンヌの物語展



■ 2007年9月27日(土)～11月5日(月)

エコール・ド・パリを代表する画家モディリアーニ(1884-1920)と、妻ジャンヌ・エビュテルヌ(1898-1920)のラブ・ストーリーを軸に、これまであまり知られていなかった芸術家としてのジャンヌ像を紹介する展覧会。日本初公開となるジャンヌの遺族秘蔵のコレクションを中心に、二人の油彩・素描・資料など約160点を展示した。

主催／島根県立美術館、山陰中央テレビ
SPSしまね

観覧者数／20,433人(開催日数33日)

記念講演会／「モディリアーニとジャンヌ 一世紀末のモンパルナス」

〈講師〉木島俊介(Bunkamuraザ・ミュージアム プロデューサー/本展監修者)

10月14日(日)

ギャラリートーク／担当学芸員による展示解説。会期中4回実施。

関連イベント／しまね映画祭2007「映画のなかのモディリアーニ&ジャンヌ」10月7日(日)

ロビーコンサート「筆で奏でる愛の軌跡」

10月21日(日) 〈演奏〉福田千栄子(生田流 地歌箏曲演奏家)

ワークショップ「モディリアーニから読み解く近代彫刻の不思議」

10月28日(日) 〈講師〉石上城行(島根大学教育学部准教授)

主な展示作品／アメデオ・モディリアーニ《大きな帽子を被ったジャンヌ・エビュテルヌ》 個人蔵、《赤毛の若い娘》、ジャンヌ・エビュテルヌ《シャイム・スーテン》 個人蔵



会場風景

第40回 島根県総合美術展〈県展〉

■ 2007年11月17日(土)～11月25日(日)

主催／島根県文化団体連合会

第54回 日本伝統工芸展 —人間国宝から新進作家まで—



■ 2007年12月5日(水)～12月24日(月)祝

本展は日本の風土がはぐくんだ優れた工芸技術の保護育成を目的に昭和29年創設。陶芸・染織・漆芸・金工・木竹工・人形・諸工芸の7部門で厳正な審査を通過した作品が全国12会場を巡回した。6回目となる松江展では、重要無形文化財保持者(人間国宝)42名をはじめ、受賞作品、山陰在住作家11名の入選作品を含む290点を展示した。

主催／島根県、島根県立美術館
島根県教育委員会
島根県文化振興財団
NHK松江放送局、朝日新聞社
山陰中央新報社、(社)日本工芸会

観覧者数／8,674人(開催日数20日)
記念講演会／「日本文化と染織の昨今」
(講師)福田喜重[刺繍・重要無形文化財保持者(人間国宝)]
12月9日(日)

ギャラリートーク／出品作家による解説を計6回実施。
(講師)山口松太(漆芸)、白幡 明(諸工芸)、福田喜重(染織・人間国宝)、脇坂春斎(木竹工・島根県)、松本三千子(諸工芸・島根県)、前田昭博(陶芸・鳥取県)。

関連イベント／子ども鑑賞コース1「作家による子どものための出張授業(やきもの)」
11月13日(火) (講師)柳楽勝重、犬山卓也(共に陶芸作家)
子ども鑑賞コース2「作家による子どものための制作体験と作品鑑賞(うるし)」
12月11日(火) (講師)高橋香葉(漆芸作家)
子ども鑑賞コース3「作家による子どものための制作体験と作品鑑賞(そめもの)」
12月19日(水) (講師)永田佳子(染織作家)



日本工芸会新人賞【諸工芸】省胎七宝捻鉢「露華」松本三千子(島根県松江市)

島根の近代日本画家五人展 ～小村大雲・落合朗風・西 晴雲・橋本明治・石本 正～



■ 2008年1月2日(水)～2月18日(月)

島根ゆかりの日本画家として、小村大雲・落合朗風・西 晴雲・橋本明治・石本 正の五人を選び、当館コレクションを中心に作品67点、資料35点を紹介した。島根の美術愛好者に広く親しまれている彼らの作品を一堂に展示することによって、島根の近代日本画史に大きな足跡を印した画家の画業を広く紹介する機会とした。

主催／島根県立美術館
観覧者数／8,071人(開催日数42日)
記念トーク／「思い出を語る」[没後70年—小村大雲と落合朗風]
(ゲスト)小村益造(小村大雲・長孫)、東条光顕(落合朗風・弟子)
1月13日(日)

ギャラリートーク／担当学芸員による展示解説。会期中5回実施。

関連イベント／オリジナル「絵馬型開運カード」プレゼント

1月2日(水)～7日(月)
オープン・スタジオ「金ピカめでた絵を描こう」1月20日(日)
和文化をさぐるシリーズ1「表装の美しさ—伝統の技をひもとく—」
2月9日(土) (講師)小竹原利則(小竹原彩漢堂、一級技能士) 他

主な展示作品／小村大雲《虎図》 出雲市立平田本陣記念館蔵、落合朗風《春夏秋冬》 山陰合同銀行蔵、石本 正《伏羲幡竜湖に立つ》 浜田市世界こども美術館蔵



石本正
ハンドブック

〈平成20年度〉2008.4 - 2009.3

パリ・ニューヨーク 20世紀絵画の流れ - フランシス・リーマン・ロブ・アート・センター所蔵品展 -



■ 2008年3月7日(金)～5月11日(日)

本国以外では世界初公開となるアメリカの名門ヴァッサー大学付属フランシス・リーマン・ロブ・アート・センターのコレクションを紹介。19世紀フランスの風景画や、アメリカ絵画の原点とも言うべきハドソン・リバー派の風景画を起点に、ピカソ、シャガールや、ポップアートに至るまで、74作家86点のラインナップで近現代美術の流れを概観した。

主催 / 島根県立美術館、BSS山陰放送
SPSしまね

観覧者数 / 15,108人(開催日数58日)

記念講演会 / 「ヨーロッパからアメリカへ 近代絵画の流れ」
(講師) 本江邦夫(府中市美術館館長、多摩美術大学教授)
3月9日(日)

ギャラリートーク / 担当学芸員による展示解説。会期中6回実施。夕方行う作品解説。会期中4回実施。

関連イベント / 映画上映会「ブラダを着た悪魔」
4月26日(土)

ワークショップ「みる×つくる - 20世紀絵画探検 -」 4月29日(火・祝)

(講師) 福井一尊(島根県立大学短期大学部専任講師、造形家)

オープンスタジオ「めざせポップ・アーティスト」 3月30日(日)

ロビーコンサート「パリ・ニューヨーク 20世紀音楽の調べ」 3月23日(日)

主な展示作品 / パブロ・ピカソ《グラス、ギター、楽譜》、マーク・ロスコ《No.18, 1948》、ロイ・リクテンスタイン《私の夢想につきまとうメロディー》 いずれもフランシス・リーマン・ロブ・アート・センター蔵



会場風景

- 皇室侍医ベルツ博士の眼 - 江戸と明治の華展



■ 2008年5月31日(土)～7月7日(日)

明治初期に来日した医師ベルツが収集した日本美術 - 「ベルツ・コレクション」の里帰り展。工芸出品作は漆工・金工など多岐にわたり、その多くが日本初公開。異国に渡った優れた日本美術を目にする貴重な機会となった。

主催 / 島根県立美術館、朝日新聞社
山陰中央新報社、SPSしまね
ドイツ バーデン＝ヴュルテンベルク州立リンデン民族学博物館

観覧者数 / 9,039人(開催日数33日)

記念講演会 / 「ドイツに渡った日本美術 - ベルツコレクションが語ること」

(講師) 大熊敏之(富山大学芸術文化学部准教授・本展監修者)

6月22日(日)

ギャラリートーク / 担当学芸員による展示解説。会期中6回実施。

関連イベント / 御手製手提袋製作所および先着プレゼント

5月1日(土)～7月7日(日)

オープンスタジオ「洋盃(コップ)敷きづくり」

7月6日(日)

ロビーコンサート「フルーツと箏で奏でる『花鳥風月』」 6月29日(日)

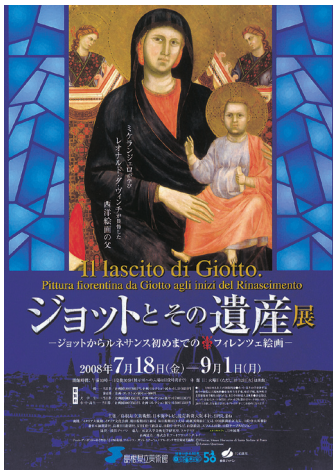
「星に願いを2008」 6月4日(水)～8月18日(月) 他

主な展示作品 / 松村景文《四季花鳥図屏風》、山本梅逸《雪中鴛鴦図》、作者不詳《松鷹装飾大花瓶》、鈴木長吉《花樹に雀図花瓶》 いずれもリンデン民族学博物館蔵、河鍋暁斎《美人の袖を引く骸骨図》 ビューティヒハイム=ビッシンゲン市立博物館蔵



鑑賞ガイド「別冊都新聞」

ジョットとその遺産展 —ジョットからルネサンス初めまでのフィレンツェ絵画—



■ 2008年7月18日(金)～9月1日(月)

西洋美術史の原点とも言える画家ジョットとその影響を受けた同時代の作家たちの作品を紹介。イタリア美術史学の権威ブルーノ・サンティ総監をはじめとするフィレンツェ・ピストイア・プラート美術監督局の協力のもと、ジョットの板絵、フレスコ画、ステンドグラスおよび同時代の作品34点の他、アッシジなど有名壁画の写真資料も展示された。

主催／島根県立美術館、日本海テレビ
読売新聞大阪本社、SPSしまね
観覧者数／17,025人(開催日数41日)
記念講演会／「ジョットとその遺産、修復事業の意義」
〈講師〉ブルネッタ・テオドーリ(文化財省フィレンツェ特別局所属技官、美術史家)、ムリエール・ヴェルヴァット(文化財省フィレンツェ特別局指定修復家)
7月20日(日)



会場風景

ギャラリートーク／担当学芸員による展示解説。会期中5回実施。夕方行う作品解説。会期中3回実施。
関連イベント／映画上映会「神の道化師、フランチェスコ」8月3日(日)
ワークショップ「夏休みアート体験 キミが読み解く絵のひみつめざせ!テンペラマエストロ」
8月11日(月)～18日(月) (島根大学教育学部学校教育課程美術教育専攻との共同事業)
ロビーコンサート「フィレンツェの昼下がり～イタリア古典歌曲の世界～」
7月27日(日) 他
主な展示作品／ジョット・ディ・ボンドーネ《聖母子》サント・ステーファノ・アル・ポンテ聖堂附属美術館(フィレンツェ)、《聖母子》サン・ロレンツォ教区聖堂、ボルゴ・サン・ロレンツォ(フィレンツェ)、《殉教助祭聖人》サンタ・クロッチェ聖堂附属美術館(フィレンツェ)

絵本の魔術師 エリック・カール展 『はらぺこあおむし』から最新作まで



■ 2008年9月19日(金)～11月3日(月・祝)

『はらぺこあおむし』で知られる、アメリカの絵本作家エリック・カール(1929年～)の創作世界を紹介する展覧会。アメリカ、マサチューセッツ州のエリック・カール絵本美術館から、代表作の原画やスケッチなど約100点のほか、絶版本を含む約70冊の絵本や、制作の様子を撮り下ろした映像も加えて展示した。

主催／島根県立美術館、朝日新聞社
山陰中央テレビ、SPSしまね
観覧者数／48,977人(開催日数40日)
ギャラリートーク／担当学芸員による展示解説。会期中4回実施。
関連イベント／「あおむしんの美術館ナビ」
9月21日(日)～11月3日(月・祝)
「ミュージアム・フェスティバル」
9月21日(日)
「おはなしのへや」
会期中5日間 各日4回実施 他



会場風景

主な展示作品／エリック・カール《『はらぺこあおむし』原画》、《『10このちいさなおもちゃのあひる』原画》、《『ババ、お月さまとって!』原画》いずれもエリック・カール絵本美術館蔵

第41回 島根県総合美術展〈県展〉

■ 2008年11月15日(土)～11月23日(日)

主催／島根県、島根県文化団体連合会、美術関係諸団体

第55回 日本伝統工芸展 —人間国宝から新進作家まで—



■ 2008年12月10日(水)～12月24日(水)

本展は、日本の風土がはぐくんだ優れた工芸技術の保護育成を目的に昭和29年創設。陶芸・染織・漆芸・金工・木竹工・人形・諸工芸の7部門で、厳正な審査を通過した作品が全国12会場を巡回した。7回目となる松江展では、重要無形文化財保持者(人間国宝)41名をはじめ、受賞作品、地元山陰作家9名の入選作品を含む291点を展示した。

- 主催／島根県、島根県立美術館、島根県教育委員会
島根県文化振興財団、NHK松江放送局
朝日新聞社、山陰中央新報社、(社)日本工芸会
- 観覧者数／7,302人(開催日数15日)
- 記念講演会／「人形に生命を吹き込む!! ～現代に活きる雅な京の伝統美～」
〈講師〉林 駒夫〔桐壱人形・重要無形文化財保持者(人間国宝)〕
12月14日(日)
- ギャラリートーク／出品作家による解説を計6回実施。
〈講師〉山口松太(漆芸)、柴田 明(諸工芸)、林 駒夫(人形・人間国宝)、佐々木苑子(染織・人間国宝)、村山 明(木竹工・人間国宝)、山本浩彩(陶芸・鳥取県)。
- 関連イベント／子ども鑑賞コース1「作家による子どものための制作実演と作品鑑賞(やきもの)」
12月12日(金) 〈講師〉柳楽大輔(陶芸作家)
子ども鑑賞コース2「作家による子どものための制作実演と作品鑑賞(しっぽう)」
12月19日(金) 〈講師〉松本三千子(七宝作家) 他



子ども鑑賞ガイド

コレクション探検 版! —魅惑の近現代版画—



■ 2009年1月2日(金)～2月23日(月)

コレクション作品を中心に、「版」を介して生み出される版画の魅力を追った展覧会。約250点の作品で近現代版画史の流れを追うとともに、木版画や銅版画など様々な版種の違いにも焦点をあてた。いつもと異なるコレクションの見方を提案する一方で、自由で個性豊かな展開をみせる「版の表情」の面白さを紹介した。

- 主催／島根県立美術館
- 観覧者数／6,208人(開催日数46日)
- 記念講演会／「遠くて近い版の絵」
〈講師〉中林忠良(銅版画家・東京藝術大学名誉教授・大阪芸術大学教授)
2月8日(日)
- ギャラリートーク／担当学芸員による展示解説。会期中5回実施。
- 関連イベント／銅版画の制作実演
2月8日(日) 〈講師〉中林忠良
ワークショップ「シルクスクリーンでTシャツをデザイン」
2月1日(日)
バレンタインコンサート「フィエスタ・フラメンカ」
2月11日(水) 他
- 主な展示作品／長谷川潔《狐と葡萄(ラ・フォンテーヌ寓話)》、橋口五葉《髪梳ける女》、戸張弧雁《玉乗り》 いずれも島根県立美術館蔵



ガイドブック

開館10周年記念展 アカデミズムか?印象派か? フランス絵画の19世紀 ~美をめぐる100年のドラマ~



■ 2009年3月6日(金)~5月31日(日)

島根県立美術館開館10周年展として、これまで日本ではほとんど紹介されることのなかった19世紀フランス絵画の主流であるアカデミズムの絵画を本格的に紹介。伝統を重んじるアカデミズムの流れと、革新的なロマン主義・リアリズム・印象主義などの動向を対比させることにより、ふたつの流れが互いに反駁しあい、浸透しあいながら、豊饒な世界を織り上げていくフランス絵画の100年を通観した。

主催/島根県、島根県立美術館、山陰中央テレビ
山陰中央新報社、NHK松江放送局、SPSしまね
日本経済新聞社、中国新聞社

観覧者数/80,944人(開催日数77日)

記念講演会/「アカデミズム絵画とは何か—近代フランス美術の知られざる側面」

〈講師〉ブリュノー・フカール(パリ第4大学名誉教授・本展総監修者) 3月15日(日)

「19世紀フランス絵画におけるアカデミズムと革新派」

〈講師〉三浦 篤(東京大学教授・本展監修者) 4月5日(日)

ギャラリートーク/担当学芸員による展示解説。会期中11回実施。

サンセット・ギャラリートーク。会期中5回実施。

関連イベント/夕日コンサートI「荒木千恵(ピアノ)」

3月7日(日)

夕日コンサートII「ゴスペルオーブ(ゴスペル)」 4月4日(土)

夕日コンサートIII「山陰フィルハーモニー管弦楽団」 5月2日(日)

「コレクションの10周年」記念事業「みんなで選ぶ 島根県美のコレクションベスト10」

投票期間:2008年10月29日(水)~2009年3月31日(火)

「教育普及の10周年」記念事業「美術館に行こう!プロジェクト」

【ヒ・ミ・ツのバックヤードツアー】

期日:3月29日(日)、4月26日(日)、5月17日(日) 各日2回

【オリジナル缶バッジをつくるう】

期日:3月22日(日)、4月19日(日)、5月5日(火・祝)、5月10日(日)

その他:学校向けプログラムの作成、島美写真館撮影BOXの設置、《宍道湖うさぎ》

紹介コーナーの設置、ポスターでたどる10年のあゆみ、宍道湖畔でアートブック

「ゆるキャラ10th大集合」 4月19日(日)

「ファミリー感謝DAY」 5月10日(日)

鑑賞ガイド「5分でわかる!ボザール先生の特別授業」作成



鑑賞ガイド



開会式



記念講演会 I



記念講演会 II



ギャラリートーク



会場風景



会場風景



会場風景

教育普及



■ 教育普及

〈毎年実施している普及活動〉 2004.4 ~ 2009.3

			開催日
学校等との連携	創作体験支援	学校等団体来館時における創作活動支援	要請に応じ実施
	出張授業	学校へ出向いての講義等	要請に応じ実施
	職場体験	児童・生徒の職場体験の受入れ	要請に応じ実施
	異業種体験等教員研修	教員の職場体験の受入れ	要請に応じ実施
	島根大学教育学部学校教育課程美術教育専攻3回生の学習支援	夏休みアート体験ワークショップ企画の立案から実施までを支援	4月~8月
	小学校図画工作科教育講座 主催：島根県教育委員会、主管：島根県教育センター浜田教育センター	「対話型アート鑑賞法」の講義・演習を後援	年1回2日間
	学芸員実習	学芸員資格取得のための実習	年1回5日間
一般対象	シマネスクくびき学園(島根県高齢者大学校)への出張講座(主催:社会福祉法人 島根県社会福祉協議会)	解説・講義	年2回程度
	まつえ市民大学美術コース講座の受入れ(主催:松江市、松江市教育委員会、まつえ市民大学運営委員会)	解説・講義	年3回程度
	その他出張講演会、ワークショップ		要請に応じ実施
その他	バックヤード見学		要請に応じ実施



出張授業のようす

〈平成16年度普及事業〉 2004.4 ~ 2005.3

				開催日	参加人数		
講演/シンポジウム	企画展	昭和前期の洋画展 関連	記念講演会「昭和前期の洋画」	講師:副島三喜男(当館館長)	4月25日	80名	
		ジョルジュ・ルオー展 関連	記念講演会「出光美術館のルオー・コレクションについて」	講師:後藤新治(西南学院大学教授)	6月20日	110名	
		京都・近代日本画のきらめき展 関連	記念講演会「京都・近代日本画の魅力」	講師:島田康寛(京都国立近代美術館学芸課長)	8月7日	63名	
		姫君の華麗なる日々展 関連	記念講演会「千代姫婚礼調度を読み解く」	講師:山本泰一(徳川美術館副館長)	9月19日	210名	
小企画展	伯爵カメラマン 亀井茲明展 関連	記念シンポジウム「伯爵カメラマン 亀井茲明展」	[研究発表1]木下直之(東京大学教授)/「亀井茲明と明治美術」/[研究発表2]島谷典子(当館主任学芸員)/「亀井茲明の写真」/[パネル・ディスカッション]亀井茲基(財団法人亀井温故館理事長)、木下直之、島谷典子		10月11日	40名	
	企画展	第51回日本伝統工芸展 関連	記念講演会「備前焼のころ」	講師:伊勢崎淳(陶芸重要無形文化財保持者[人間国宝])	12月11日	190名	
講座	コレクション展	唐三彩展 関連	記念講演会「唐三彩の謎をとく」	講師:森達也(愛知県陶磁資料館主任学芸員)	1月30日	150名	
		美術講座「奇想天外江戸の画家たち~伊藤若冲・葛飾北斎・歌川国芳~」	講師:梶山博史(当館学芸員)	6月27日	21名		
		美術講座「文人たちの理想郷(ユートピア)~池大雅から富岡鉄斎まで」	講師:梶山博史(当館学芸員)	7月18日	19名		
		美術講座「琳派って何だろう?~依屋宗達・尾形光琳・酒井抱一~」	講師:梶山博史(当館学芸員)	8月22日	31名		
		美術講座「油絵を解剖してみようI~高橋由一の奮闘記」	講師:左近充直美(当館学芸員)	9月26日	11名		
		美術講座「石橋和訓 人と作品」	講師:真住貴子(当館主任学芸員)	10月24日	15名		
ギャラリートーク	コレクション展	各コレクション展 関連	ギャラリートーク	学芸員による展示解説	通年	-	
		各企画展 関連	ギャラリートーク	学芸員による展示解説	通年	-	
		昭和前期の洋画展 関連	子どものためのギャラリートーク	学芸員による小1~中3を対象とした展示解説	5月1、8、15、22、29日	25名	
創作	企画展	唐三彩展 関連	オープンスタジオ「唐三彩にチャレンジ!!フィギュアをつくろう」		2月6、20、27日	-	
			「大人のための意外な版画体験講座 今度は木版リトグラフ!」	講師:佐竹邦子(版画家、多摩美術大学非常勤講師)	2月11~12日	20名	
	企画展	ジョルジュ・ルオー展 関連	美術館のホールデコレーション2004 オープンスタジオ「穴道遊洋のスケッチ・デー」			5月1、2日	85名
		夏休みアート体験「ポコッと発掘!!現代化石」	島根大学との連携事業		7月3日、6月14、15、21、22日	353名	
		姫君の華麗なる日々展 関連	オープンスタジオ「スタンドカラーでピエロを描こう」			7月3、4、10、11日	147名
			「華麗なる大衣装絵巻」	講師:金井ひろみ(造形作家、衣装デザイナー)		10月9~11日	21名
			「作家による子どものための出張授業~焼き物ってなに」	講師:犬山卓也、柳楽勝重(共に陶芸作家)		12月1日	123名
			「作家による子どものための出張授業~七宝ってなに」	講師:菅坂安子(七宝作家)		12月2日	26名
	オープンスタジオ		「作家による子どものための解説会~漆芸について」	講師:高橋香葉(漆芸作家)		12月17日	31名
			オープンスタジオ「やさしい型染め体験」			12月12、19日	138名
映画		オープンスタジオ「みんなでつくる足踏み版画」	講師:佐竹邦子(版画家、多摩美術大学非常勤講師)		2月13日	14名	
		しまね映画祭2004「ルーブル美術館の秘密」			11月21日	180名	
		しまね映画祭2004「映画祭作品上映会」			11月22日	55名	
コンサート		「即興 Improvisation~生まれる瞬間~ DANCE×MUSIC×YOU」	パフォーマンス:C.I.coとM.シューマツハ(ダンス)、演奏:辺見康孝(ヴァイオリン)		5月8日	195名	
	企画展	ギョスターヴ・モロー展 関連	「名曲で飾るロビーコンサート」	演奏:アクエリアス弦楽四重奏団	3月27日	300名	
共催事業		「まつえ市民大学」一般公開講座(主催:松江市生涯学習課)「建築家 菊竹清訓氏講演会」	講師:菊竹清訓(建築家)		1月23日	220名	
鑑賞補助	企画展	第51回日本伝統工芸展関連	「伝統工芸って何?」		12月8~23日	-	



オープンスタジオ「穴道湖岸のスケッチ・デー」



「華麗なる大衣装絵巻」



「大人のための意外な版画体験講座 今度は木版リトグラフ!」



記念シンポジウム「伯爵カメラマン 亀井茲明展」

■ 教育普及

〈平成17年度普及事業〉 2005.4～2006.3

				開催日	参加人数	
講演/ シンポジウム	企画展	ギュスターヴ・モロー展 関連	記念講演会「モローの<サロメ>とヨーロッパの女性像」	講師:木島俊介(共立女子大学教授)	4月10日	120名
		若冲と琳派展 関連	記念講演会「細見コレクションの若冲について」	講師:狩野博幸(京都国立博物館文化資料課長)	6月19日	145名
		日本美術の精華展 関連	記念講演会「南蛮の美」	講師:河野元昭(東京大学教授)	7月31日	98名
	コレクション展	銅版画家 山本容子展 1975-1982 関連	記念講演会「私の美術遊園地」	講師:山本容子(銅版画家)	9月19日	240名
	企画展	ミュシャ展 関連	記念講演会「アールヌーヴォーから祖国愛の画家へ:ミュシャの生涯と芸術」	講師:千足伸行(成城大学教授)	9月25日	109名
		第52回日本伝統工芸展 関連	記念講演会「やきものと私」	講師:原清(陶芸・重要無形文化財保持者[人間国宝])	12月10日	190名
		スイス・スピリッツ展 関連	記念講演会「スイスの山の楽しさ」	講師:池内紀(ドイツ文学者、エッセイスト)	1月29日	240名
コレクション展	DAIDO EMOTION 森山大道コレクション 関連	「DAIDO EMOTION 森山大道コレクション」トークショー	講師:森山大道(写真家)	2月19日	110名	
企画展	岡本太郎展 関連	記念講演会「岡本太郎の人となりと職業」	講師:村田慶之輔(川崎市岡本太郎美術館館長)	3月12日	130名	
講座	小企画展	麗しの大和撫子展 関連	美術講座「美人画ポスターと日本画家北野恒富」	講師:川西由里(島根県立石見美術館学芸員)	5月1日	15名
講座/体験	企画展	日本美術の精華展 関連	「南蛮美術と食文化～こんべいとう実演～」【親子向け】	講師:コンバイトウ・ミュージアム やお スタッフ	8月21日	34名
			「南蛮美術と食文化～こんべいとう実演～」【一般向け】	レクチャー講師:三戸信恵(サントリー美術館学芸員) こんべいとうづくり:コンバイトウ・ミュージアム やお スタッフ	8月21日	29名
ギャラリー トーク	コレクション展	各コレクション展 関連	ギャラリートーク	学芸員による展示解説	通年	—
	企画展	各企画展 関連	ギャラリートーク	学芸員による展示解説	通年	—
創作	企画展	ギュスターヴ・モロー展 関連	オープンスタジオ「物語とめりえの部屋」		4月29日,5月1,3,4,5,8,15,22日	228名
		若冲と琳派展 関連	「箔押し体験」	講師:永井淳一(永井塗物店 塗師)	6月12日	27名
		オープンスタジオ「団扇に描く」		7月3,10日	97名	
	日本美術の精華展 関連	夏休みアート体験「くるくる作る!!かんたんブチ絵巻」	島根大学との連携事業	7月23~24日,8月13~15,20,27,28日	262名	
	コレクション展	版画 関連	「大人のための‘とろける’銅版画体験講座」	講師:濱田富貴(銅版画家)	9月23,24,25日	18名
	企画展	ミュシャ展 関連	「アール・ヌーヴォーの香り」	講師:前田憲治(SORAMIMI/ハーブショップ経営)	9月18日	43名
		第52回日本伝統工芸展 関連	子ども鑑賞コース「作家による子どものための出張授業(絵画)」	講師:高橋香葉(漆芸作家)	11月12日	27名
			子ども鑑賞コース「作家による子どものための作品鑑賞(陶芸)」	講師:山本浩彰(陶芸作家)	12月13日	31名
			子ども鑑賞コース「作家による子どものための制作体験と作品鑑賞(ハンカチ染め)」	講師:福井禎(染織作家)	12月15日	44名
		オープンスタジオ「冬のゆらゆらモビールづくり」		1月22日	106名	
オープンスタジオ「スイスカラーのとびだすカード」		2月11,12日	55名			
岡本太郎展 関連	「太郎に挑戦!爆発オブジェをつくろう」	講師:石上城行(島根大学准教授)	3月4,5日	21名		
研修	コレクション展		教員研修「足踏み版画」		8月2,3,4,5日	53名
			教員研修「アメリカ・アレナス アート鑑賞ワークショップ」	講師:アメリカ・アレナス(元 ニューヨーク近代美術館教育部講師)	10月30日	43名
映画	企画展	ミュシャ展 関連	映画上映会「フレンチ・カンカン」		10月2日	140名
			しまね映画祭2005「エルミタージュ幻想」		11月6日	225名
映画/コンサート	企画展	スイス・スピリッツ展 関連	「子ども上映会(弓の名人ウィリアム・テル)&アルペンホルンでスイス気分」	演奏:島根ホルンクラブ	1月15日	185名
映画	企画展	岡本太郎展 関連	映画上映会「宇宙人東京に現る」		3月21日	80名
		若冲と琳派展 関連	「名曲で飾るロビーコンサート」	演奏:小村瀧山(尺八)、林世津(箏)、木次則子(箏)	6月26日	235名
コンサート	企画展	ミュシャ展 関連	「名曲で飾るロビーコンサート」	演奏:アクエリアス弦楽四重奏	10月23日	437名
		第52回日本伝統工芸展 関連	「鑑賞ガイド for kids 伝統工芸って何だろう?」	子ども向け鑑賞ガイドの作成	12月7日~23日	—
鑑賞補助	企画展	スイス・スピリッツ展 関連	「スイス・クイズ」	スイス文化に関する子ども向けのクイズを作成	1月2日~2月24日	170名
		岡本太郎展 関連	「岡本太郎展を100倍楽しく見る方法」	岡本太郎展のセルフガイドを作成	3月4~31日	—
その他	企画展	岡本太郎展 関連	オープンスタジオ「太郎になろう」		3月26日	125名



「DAIDO EMOTION 森山大道コレクション」トークショー



「箔押し体験」



教員研修「アメリカ・アレナス アート鑑賞ワークショップ」



映画上映会「宇宙人東京に現る」

■ 教育普及

〈平成18年度普及事業〉 2006.4～2007.3

					開催日	参加人数
講演/ シンポジウム	企画展	前田青邨展 関連	記念講演会「青邨芸術の魅力ー多様なモチーフを支える技巧と知性ー」	講師：上園四郎（岡岡市立竹崎美術館副館長）	8月6日	63名
		田園の誘い展 関連	記念講演会「バルビゾン派の魅力ー農民画と田園風景ー」	講師：島田紀夫（プリヂェストン美術館館長）	10月9日	90名
		第53回日本伝統工芸展 関連	記念講演会「漆芸の古典と創作ー国宝（秋野鹿時絵手箱（出雲大社蔵）の修理・復元模造で学んだことー」	講師：北村昭斎（螺鈿・重要無形文化財保持者[人間国宝]）	12月10日	73名
		平塚運一展 関連	記念講演会「生涯「創作版画家」平塚運一」	講師：松山龍雄（季刊「版画芸術」編集顧問）	1月21日	69名
		ルソー展 関連	記念講演会「アンリ・ルソーの真価」	講師：岡谷公二（美術史家）	3月18日	72名
ギャラリー トーク	コレクション展	各コレクション展 関連	ギャラリートーク	学芸員による展示解説	通年	—
	企画展	各企画展 関連	ギャラリートーク	学芸員による展示解説	通年	—
創作	企画展		美術館のゴールデンウィーク2006 オープンスタジオ「宍道湖のスケッチ・デー」		5月3,4日	135名
		ミッフィー展 関連	オープンスタジオ「ミッフィーをつくろう」		6月11,18,25日	754名
		前田青邨展 関連	「日本画材料実験室」	講師：橋本弘安（女子美術大学教授、日本画家）	7月29日	31名
	企画展	第53回日本伝統工芸展 関連	子ども鑑賞コース「作家による子どものための出張授業（絵漆）」	講師：高橋香葉（漆芸作家）	11月15,29日	105名
			子ども鑑賞コース「作家による子どものための制作体験（スカーフ染め）」	講師：永田佳子（染織作家）	12月13日	64名
			子ども鑑賞コース「作家による子どものための解説会（陶芸）」	講師：安藤真澄（陶芸作家）	12月15日	130名
		平塚運一展 関連	オープンスタジオ「モノタイプ・プリント 彫らずに出来るカンタンゆるベタ版画」	島根大学との連携事業	1月13,14日	52名
			「多色木版画 大人のための「ブレない」多色木版画体験講座」	講師：水津保美（木版画家）	2月10～12日	20名
		ルソー展 関連	「拓本 これも版だ 拓本体験」	講師：林健亮（島根県教育庁）	2月18日	41名
			「青木製作所：ペーパークラフト／3D絵画入門」	講師：青木世一（造形作家）	3月24日	15名
		「パラダイス×ルソーボックス」	講師：青木世一（造形作家）	3月25日	15名	
研修	コレクション展		教員研修「木版画」		7月28,29日	13名
映画			しまね映画祭2006「ベルヴィル・ランデブー」		10月22日	190名
			映画上映会「王と鳥」		3月21日	43名
子育て支援	企画展	ミッフィー展 関連	「キッズルーム」		5月26日～7月10日 (ミッフィー展会期中) の毎週土・日曜日	3,194名
			Coccolo (こっころ) 優待デー&託児サービス		10月22日	4名(託児サービス利用者)
			Coccolo (こっころ) 優待デー&託児サービス		3月21日	8名(託児サービス利用者)
鑑賞補助	コレクション展	(ミッフィー展と連動)	コレクション展連動企画「ART ZOO～ミッフィーのおともだちをさがしにいこう!～」	コレクション展鑑賞のためのカードゲームを作成	5月26日～7月10日	—
		(ルソー展と連動)	「ムソーくんの夢たんてい」	〃	3月14日～(5月6日)	—
	企画展	前田青邨展 関連	「歴史画ガイド」	歴史画の解説ガイドを作成	7月22日～8月27日	—
		第53回日本伝統工芸展 関連	「鑑賞ガイド for kids 伝統工芸って何だろう?」	子ども向け鑑賞ガイドの作成	12月6日～23日	—
		平塚運一展 関連	「平塚運一展 ハンドブック」	展覧会解説の小冊子を作成	1月2日～2月26日	—
		「開運!? 運一おみくじ」	平塚運一の言葉をおみくじとして作成	1月2日～2月26日	—	
		ルソー展 関連	「子どものためのガイド」	子ども向けの鑑賞ガイドを作成	3月9日～(5月6日)	—
その他	企画展	ミッフィー展 関連	「ミッフィーにおてがみ」		5月26日～7月10日	約1,700名



「ムソーくんの夢たんてい」



夏休みアート体験「木でつくろう!カタチ楽しむもくもく工房」



「パラダイス×ルソーボックス」



Coccolo(こっころ) 優待デー&託児サービス

■ 教育普及

〈平成19年度普及事業〉 2007.4～2008.3

				開催日	参加人数	
講演/ シンポジウム	企画展	ルソー展 関連	記念シンポジウム「ルソーと日本」	パネリスト：遠藤望（世田谷美術館企画担当課長）、村上博哉（国立西洋美術館学芸課長）、鳥谷典子（当館学芸グループ課長）	4月22日	44名
		有元利夫展 関連	記念講演会「有元利夫の人と作品」	講師：有元容子（有元利夫夫人、日本画家、実践女子大学教授）	5月27日	190名
			記念講演会「有元利夫のカー有元作品と宮本輝の小説世界、そして…」	講師：高橋一清（元『文藝春秋』第一編集長、松江市観光文化プロデューサー）	6月10日	137名
		竹久夢二展 関連	記念講演会「夢二ロマンとは」	講師：小川晶子（夢二郷土美術館主任学芸員）	8月19日	98名
		モディリアーニ展 関連	記念講演会「モディリアーニとジャンヌー世紀末のモンマルトル・新世紀のモンパルナス」	講師：木島俊介（Bunkamuraミュージアムプロデューサー、企画展監修者）	10月14日	130名
		第54回日本伝統工芸展 関連	記念講演会「日本文化と染織の昨今」	講師：福田喜重（刺繍・重要無形文化財保持者[人間国宝]）	12月9日	121名
		島根の近代日本画五人展 関連	記念トーク「(思い出を語る) 没後70年-小村大雲と落合朗風」	講師：小村益造（小村大雲・長孫）、東条光顯（落合朗風、弟子）	1月13日	90名
	パリ・ニューヨーク20世紀絵画の流れ展 関連	記念講演会「ヨーロッパからアメリカへ 近代絵画の流れ」	講師：本江邦夫（府中市美術館館長、多摩美術大学教授）	3月9日	39名	
講座/体験		「和文化シリーズ1 表装の美しさ-伝統の技をひもとく-」	講師：小竹原利則（小竹原彰演堂、一級技能士）	2月9日	20名	
ギャラリー トーク	コレクション展	各コレクション展 関連	ギャラリートーク	学芸員による展示解説	通年	-
	企画展	各企画展 関連	ギャラリートーク	学芸員による展示解説	通年	-
創作	企画展		美術館のゴールデンウィーク2007 オープンスタジオ「宍道湖のスケッチ・デー」		4月28、29日	79名
		有元利夫展 関連	オープンスタジオ「ロマンティック・ブックカバー」		7月1日	53名
		竹久夢二展 関連	夏休みアート体験「夢二に挑戦！ポンポン型染め手ぬぐい職人」	島根大学との連携事業	8月13～16日	230名
		モディリアーニ展 関連	「モディリアーニから読み解く近代彫刻の不思議」	講師：石上城行（島根大学教育学部准教授）	10月28日	27名
		第54回日本伝統工芸展 関連	子ども鑑賞コース「作家による子どものための出張授業〈やきもの〉」	講師：犬山卓也、柳楽勝重（共に陶芸作家）	11月13日	38名
			子ども鑑賞コース「作家による子どものための制作実演と作品鑑賞〈うるし〉」	講師：高橋香葉（漆芸作家）	12月11日	77名
		子ども鑑賞コース「作家による子どものための制作実演と作品鑑賞〈そめもの〉」	講師：永田佳子（染織作家）	12月19日	81名	
島根の近代日本画五人展 関連	オープンスタジオ「金ピカめでた絵を描こう」		1月20日	64名		
パリ・ニューヨーク20世紀絵画の流れ展 関連	オープンスタジオ「めざせポップ・アーティスト」		3月30日	53名		
研修	コレクション展		教員研修「彫刻」	講師：石上城行（島根大学教育学部准教授）	7月25、26日	14名
映画	企画展	竹久夢二展 関連	映画上映会「夢二映画特集 『竹久夢二物語 恋する』『夢二』」		9月9日	380名
		モディリアーニ展 関連	しまね映画祭2007「映画のなかのモディリアーニ&ジャンヌ 『モンパルナスの灯』『モディリアーニ 真実の愛』」		10月7日	380名
子育て支援			Coccolo（こっころ）優待デー&託児サービス		10月7日	14名
鑑賞補助	コレクション展	（有元利夫展と連動）	コレクション展連動企画「花の手帖-描かれた花々-」	作品に描かれた〈花〉を探すワークシートを作成	5月30日～7月9日	-
		（竹久夢二展と連動）	「芸術家のラブレター」	作品・作家にまつわる愛のエピソードをラブレター風カードに作成	8月10日～11月5日	-
		（モディリアーニ展と連動）	「I LOVE EYE」	作品に描かれた〈目〉を探すワークシートを作成	9月29日～11月5日	-
設置型/ ハンズオン	企画展	第54回日本伝統工芸展 関連	「子ども鑑賞ガイド」	子ども向け鑑賞ガイドの作成	12月5日～24日	-
		島根の近代日本画五人展 関連	「島根の近代日本画五人展 ハンドブック」	展覧会解説の小冊子を作成	1月2日～2月18日	-
		有元利夫展 関連	「香りをプレゼント」	ムエット（試香紙）で花の香りをプレゼント	5月30日～7月9日	-
		竹久夢二展 関連	「試聴コーナー オルゴールで宵待草」	夢二作詞「宵待草」のオルゴールコーナーを設置	8月10日～9月17日	-
その他			「絵馬型関連カード」	新年の目標が書き込めるオリジナルカードを作成	1月2日	1,000名



ギャラリートーク



オープンスタジオ「ロマンティック・ブックカバー」



教員研修「彫刻」



和文化シリーズ1「表装の美しさ-伝統の技をひもとく-」

■ 教育普及

〈平成20年度普及事業〉 2008.4～2009.3

					開催日	参加人数
講演/ シンポジウム	企画展	江戸と明治の華展 関連	記念講演会「ドイツに渡った日本美術—ベルツコレクションが語ること」	講師:大熊敏之(富山大学芸術文化学部准教授)	6月22日	102名
		ジョットとその遺産展 関連	記念講演会「ジョットとその遺産、修復事業の意義」	講師:フルネッラ・テオドーリ(文化財省フィレンツェ特別局所属技官、美術史家)、ムリエール・ヴェルヴァット(文化財省フィレンツェ特別局指定修復家)	7月20日	120名
		第55回日本伝統工芸展 関連	記念講演会「人形に生命(いのち)を吹き込む!!～現代に生きる雅な京の伝統美～」	講師:林駒夫(桐壺人形・重要無形文化財保持者[人間国宝])	12月14日	88名
		版!展 関連	記念講演会「遠くて近い版の絵」	講師:中林忠良(銅版画家、東京藝術大学名誉教授、大阪芸術大学教授)	2月8日	70名
		フランス絵画の19世紀展 関連	記念講演会「アカデミズム絵画とは何か—近代フランス美術の知られざる側面」	講師:リュノール・フカール(パリ第4大学名誉教授、企画展総監修者)	3月15日	190名
講座/体験		記念講演会「19世紀フランス絵画におけるアカデミズムと革新派」	講師:三浦篤(東京大学教授、企画展監修者)	(2009年4月5日)	157名	
講座/体験		「和文文化シリーズ2 金箔の魅力—伝統の技をひもとく—」	講師:永井淳一(永井塗物店 塗師)	2月15日	21名	
体験		「ヒ・ミ・ツのバックヤードツアー」		3月29日(2009年4月26日、5月17日)	141名	
実演	企画展	版!展 関連	「銅版画の制作実演」	講師:中林忠良(銅版画家、東京藝術大学名誉教授、大阪芸術大学教授)	2月8日	92名
ギャラリー トーク	コレクション展	各コレクション展 関連	ギャラリートーク	学芸員による展示解説	通年	—
	企画展	各企画展 関連	ギャラリートーク	学芸員による展示解説	通年	—
創作	企画展	パリ・ニューヨーク20世紀絵画の流れ展 関連	「みる×つくる —20世紀絵画探検—」	講師:福井一尊(島根県立大学短期大学部専任講師、造形家)	4月29日	24名
			美術館のゴールデンウィーク2008 オープンスタジオ「宍道湖のスケッチデー」		5月5～6日	65名
	企画展	江戸と明治の華展 関連	オープンスタジオ「洋壺(コップ)敷きづくり」		7月6日	60名
		ジョットとその遺産展 関連	夏休みアート体験「キミが読み解く絵のみつ めざせ!テンペラマエストロ」	島根大学との連携事業	8月11～18日	123名
		第55回日本伝統工芸展 関連	子ども鑑賞コース「作家による子どものための制作実演と作品鑑賞(やきもの)」	講師:柳楽大輔(陶芸作家)	12月12日	79名
		版!展 関連	オープンスタジオ「消しゴムはんこで年賀状作り」		12月13日	25名
		第55回日本伝統工芸展 関連	子ども鑑賞コース「作家による子どものための制作実演と作品鑑賞(しっぽう)」	講師:松本三千子(七宝作家)	12月19日	36名
版!展 関連	「シルクスクリーンでTシャツをデザイン」	講師:新井知生(島根大学教育学部教授)	2月1日	24名		
研修	コレクション展		教員研修「版画プログラム」	講師:佐々有生(島根大学教育学部教授)	8月4日	13名
			教員研修「現代アートプログラム」	講師:青木世一(造形作家)	8月21日	11名
映画	企画展	パリ・ニューヨーク20世紀絵画の流れ展 関連	映画上映会「ブラダを着た悪魔」		4月26日	130名
		ジョットとその遺産展 関連	映画上映会「神の道化師、フランチェスコ」		8月3日	164名
子育て支援	企画展	エリック・カール展 関連	「おはなしのへや」	島根県立大学短期大学部学生による絵本の読み聞かせ	9月28日、10月4日、12月25日、11月2日	1,488名
鑑賞補助	企画展	江戸と明治の華展 関連	「別冊部(ベルツ)新聞」	展覧会解説の新聞を作成	5月31日～7月7日	—
		第55回日本伝統工芸展 関連	「子ども鑑賞ガイド」	子ども向け鑑賞ガイドの作成	12月10日～24日	—
		版!展 関連	「版!展 ハンドブック」	展覧会解説の小冊子を作成	1月2日～2月23日	—
		フランス絵画の19世紀展 関連	「5分でわかるフランス絵画の19世紀～ボザール先生の特別授業～」	出品作品についての鑑賞ガイドを作成	3月6日～(2009年5月31日)	—
	コレクション展		「あおむしくんの美術館ナビ」	コレクション展示室各所に「はらぺこあおむし」ぬいぐるみを設置	9月21日～11月3日	—
設置型/ ハンズオン	企画展	第55回日本伝統工芸展 関連	「さわってみよう漆器いろいろ」	漆器10種をハンズオン展示。八雲塗の工程見本もあわせて展示	12月10日～24日	—
		版!展 関連	「スタンプコーナー」	版のしくみが理解できるスタンプコーナーを設置	1月2日～2月23日	—
その他			「みんなで選ぶ島根県美のコレクションベスト10」	コレクション作品より人気作品を投票、ベスト10作品を期間限定で特別展示	投票期間:10月29日～3月31日(展示期間:2009年4月29日～5月25日)	投票 2,911名
			文化功労者顕彰記念 澄川喜一講演会「しまねの文化力」(主催 島根県、島根県立美術館 ほか)	講師:澄川喜一(彫刻家)	1月25日	190名
			「ポスターでたどる10年のあゆみ」	過去の企画展ポスターを掲示	3月6日～(2009年5月31日)	—



「おはなしのへや」



フランス絵画の19世紀展 記念講演会



「みる×つくる —20世紀絵画探検—」



「銅版画の制作実演」

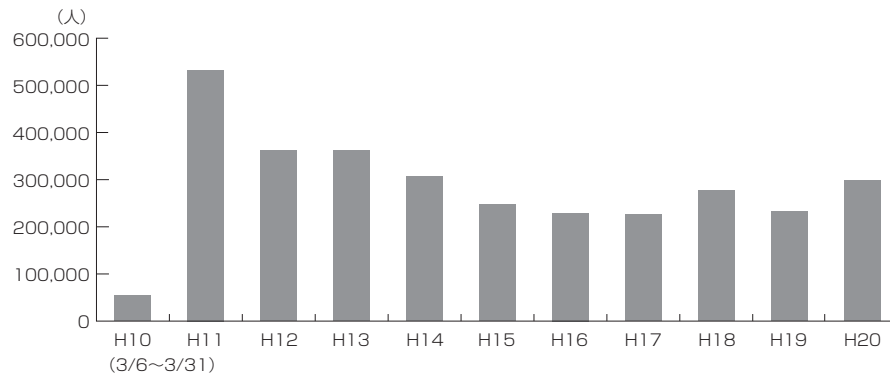
その他

活動データ
関係県例規
建築設備 他



■ 入館者の状況

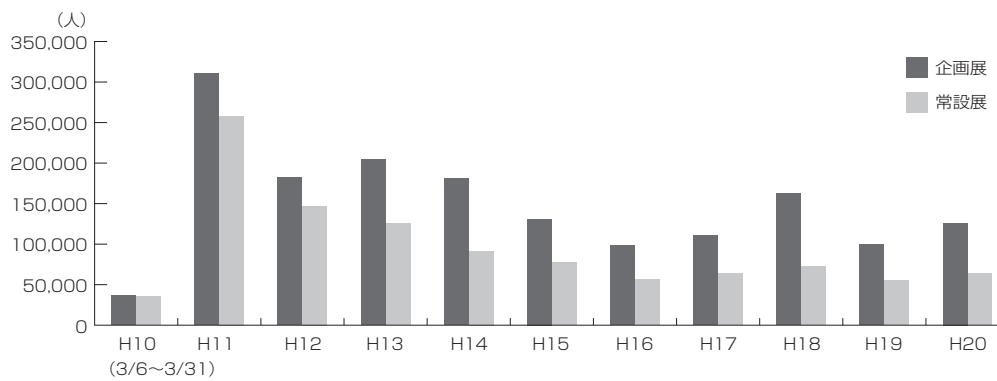
■ 入館者数の推移



(単位:人)

	H10 (3/6~3/31)	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
入館者数	54,979	532,755	361,614	361,188	306,854	246,656	229,144	225,336	277,605	232,324	298,099
平日	24,375	237,329	158,572	147,012	127,855	107,841	103,967	96,854	117,581	100,030	124,464
土日祝日	30,604	295,426	203,042	214,176	178,999	138,815	125,177	128,482	160,024	132,294	173,635
1日平均	732	1,665	1,159	1,161	983	793	732	718	887	738	955

■ 展覧会別入場者数



(単位:人)

	H10 (3/6~3/31)	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
延数 (企画+常設)	71,811	568,903	329,063	330,228	272,250	208,195	154,840	174,645	234,851	154,877	189,968
企画展	36,591	310,836	182,217	204,730	180,642	130,837	98,400	111,005	162,379	99,515	126,433
常設展	35,220	258,067	146,846	125,498	91,608	77,358	56,440	63,640	72,472	55,362	63,535

■ 入館者の状況

■ 企画展

(単位:人)

平成10年度		36,591
水の物語	3/6~3/31	36,591
平成11年度		310,836
水の物語	4/1~5/9	73,315
(水の物語累計)		(109,906)
日展	5/22~6/13	74,519
乾山と京のやきもの展	6/26~7/25	32,690
ロダン展	7/31~8/29	34,360
島根の美術	9/10~10/31	30,593
県展	11/16~28	12,181
ラファエル・コラン展	12/4~1/16	20,222
西洋絵画500年の巨匠たち展	2/19~3/26	32,956
平成12年度		182,217
河井寛次郎と棟方志功展	4/7~5/14	38,986
日本の美-笑い-展	5/23~6/25	17,293
ポルドー美術館展	7/1~8/16	33,282
東京芸大美術館名品展	9/9~10/22	48,123
県展	11/18~26	8,479
梅原龍二郎展	12/22~2/4	15,693
イギリス・フランス近代名画展	2/20~3/31	20,361
平成13年度		204,730
イギリス・フランス近代名画展	4/1	1,846
(イギリス・フランス近代名画展累計)	2/20~4/1	(22,207)
松平不昧展	4/14~5/13	64,913
いわさきちひろ展	5/25~7/1	45,777
写真の歴史160年展	7/7~8/19	12,940
黄金の至宝展	8/25~9/24	34,670
佐藤忠良・舟越保武二人展	10/5~11/4	8,487
県展	11/17~11/25	10,657
日本のわざと美	11/30~12/23	6,247
イタリア彫刻の20世紀	1/2~2/24	10,110
ウィーンの春	3/5~3/31	9,083
平成14年度		180,642
ウィーンの春	4/1~4/21	8,097
(ウィーンの春累計)		(17,180)
日展	4/27~5/19	51,861
世界遺産 ポンペイ展	6/7~7/21	29,104
ルドン展	8/2~9/23	16,423
西洋の美・日本の美	10/5~11/4	31,965
県展	11/16~11/24	10,377
第49回日本伝統工芸展	12/4~12/23	12,514
大倉集古館の名品	1/2~2/16	13,843
森山大道 1965-2003	3/1~3/30	6,458
平成15年度		130,837
森山大道 1965-2003	4/1~4/6	1,881
(森山大道 1965-2003累計)		(8,339)
上海博物館展	4/17~6/15	16,965
斎藤義重展	7/6~8/16	5,337
モネと印象派の画家たち	8/22~10/13	57,512
県展	11/15~11/24	8,836
第50回日本伝統工芸展	12/10~12/23	8,490
生誕100年 橋本明治展	1/2~2/15	9,852
THEドラえもん展	3/5~3/31	21,964

(単位:人)

平成16年度		98,400
THEドラえもん展	4/1~4/11	12,497
(THEドラえもん展累計)	3/5~4/11	(34,461)
昭和前期の洋画1923-1945	4/23~5/30	8,364
ジョルジュ・ルオー展	6/11~7/19	11,158
京都国立近代美術館所蔵日本画名品展	7/30~8/29	9,239
徳川美術館名品展	9/10~10/11	28,383
県展	11/13~11/23	8,799
第51回日本伝統工芸展	12/8~12/23	8,109
唐三彩展	1/2~2/27	8,378
ギユスターヴ・モロー展	3/19~3/31	3,473
平成17年度		111,005
ギユスターヴ・モロー展	4/1~5/22	18,014
(ギユスターヴ・モロー展累計)	3/19~5/22	(21,487)
若沖と琳派	6/3~7/10	9,674
サントリー美術館名品展	7/22~8/28	11,722
ミュシャ展	9/16~11/6	31,093
県展	11/19~11/27	8,553
第52回日本伝統工芸展	12/7~12/23	6,201
スイス・スピリッツ	1/2~2/24	9,122
岡本太郎展	3/4~3/31	16,626
平成18年度		162,379
岡本太郎展	4/1~4/9	11,323
(岡本太郎展累計)	3/4~4/9	(27,949)
日展	4/22~5/14	44,906
ミッフィー展	5/26~7/10	45,311
前田青邨展	7/22~8/27	11,189
田園への誘い	9/6~11/6	16,068
県展	11/18~11/26	8,108
第53回日本伝統工芸展	12/6~12/23	8,359
平塚運一展	1/2~2/26	11,088
ルソーの見た夢、ルソーに見る夢	3/9~3/31	6,027
平成19年度		99,515
ルソーの見た夢、ルソーに見る夢	4/1~5/6	12,978
(ルソーの見た夢、ルソーに見る夢累計)	3/9~5/6	(19,005)
有元利夫展	5/18~7/16	8,910
高総文祭	7/29~8/2	5,189
竹久夢二展	8/10~9/17	21,992
モディリアアーニと妻ジャンヌの物語展	9/29~11/5	20,433
県展	11/17~11/25	7,951
第54回日本伝統工芸展	12/5~12/24	8,674
島根の近代日本画家五人展	1/2~2/18	8,071
パリ-ニューヨーク20世紀絵画の流れ	3/7~3/31	5,317
平成20年度		126,433
パリ-ニューヨーク20世紀絵画の流れ	4/1~5/11	9,791
(パリ-ニューヨーク20世紀絵画の流れ累計)	3/7~5/11	(15,108)
江戸と明治の華展	5/31~7/7	9,039
ジョットとその遺産展	7/18~9/1	17,025
エリック・カール展	9/19~11/3	48,977
県展	11/15~11/23	9,002
第55回日本伝統工芸展	12/10~12/24	7,302
版!	1/2~2/23	6,208
開館10周年記念展	3/6~3/31	19,089
(開館10周年記念展累計)	3/6~5/31	(80,944)

■ 予算概要

■ 島根県立美術館の予算概要

1. 支出実績

(1) 展覧会・普及事業費

(単位：千円)

項目	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度
展覧会事業費	308,090	205,000	215,826	205,748	166,571	162,038
企画展示費	258,090	170,000	180,826	170,748	135,321	129,180
常設展示費	50,000	35,000	35,000	35,000	31,250	32,858
教育普及費	30,000	30,000	27,031	22,562	20,589	5,000
調査研究費	1,720	2,100	2,100	1,869	1,988	494
情報提供事業費	15,000	6,660	25,000	9,000	4,750	200
映像ソフト	10,000	5,000	20,000	5,000	0	0
その他	5,000	1,660	5,000	4,000	4,750	200
資料関係費	11,000	6,000	3,585	5,000	5,700	1,200
美術品保存費	7,205	5,000	6,000	4,300	11,838	2,200
広報事業費	13,300	10,000	11,075	9,277	8,333	6,439
美術館広報費	8,400	7,750	5,000	5,000	4,750	2,344
販売促進費等	4,900	2,250	6,075	4,277	3,583	4,095
その他	48,316	2,704	3,645	4,239	2,015	2,816
合計①	434,631	267,464	294,262	261,995	221,784	180,387
使用料	0	35,000	25,752	47,177	13,293	17,881
一般財源	434,631	232,464	268,510	214,818	208,491	162,506

(単位：千円)

項目	17年度	18年度	19年度	20年度
展覧会事業費	79,777	92,744	96,269	102,780
企画展示費	75,808	88,775	92,300	99,443
常設展示費	3,969	3,969	3,969	3,337
教育普及費	5,000	4,500	4,500	4,000
調査研究費	1,100	1,100	5,150	955
情報提供事業費	600	540	540	0
美術品費	1,964	2,426	2,310	1,964
美術品保存修復費	2,200	2,000	2,000	1,800
その他	875	800	179	1,700
合計①	91,516	104,110	110,948	113,199
使用料	48,931	60,292	52,300	59,750
一般財源	42,585	43,818	58,648	53,449

(2) 管理・運営費

(単位：千円)

項目	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度
施設管理費	240,997	259,206	246,003	241,316	236,304	217,040
建物管理運営費	74,621	72,239	72,152	70,994	67,873	61,731
警備委託	43,274	38,226	38,000	36,612	36,610	35,356
清掃委託	30,000	28,766	30,000	29,711	28,766	25,484
光熱水費	90,000	107,032	97,772	97,761	95,095	89,852
消耗品費等	3,102	12,943	8,079	6,238	7,960	4,617
運営費	49,840	40,297	37,633	46,471	50,247	37,781
受付員経費等	22,241	18,857	16,737	18,037	17,787	8,290
管理運営費	11,000	11,000	10,247	10,237	8,949	7,518
その他	16,599	10,440	10,649	18,197	23,511	21,973
その他	32,943	10,831	15,577	15,441	14,837	16,230
合計②	323,780	310,334	299,213	303,228	301,388	271,051
使用料	181,928	118,235	110,942	77,232	76,889	72,642
一般財源	141,852	192,099	188,271	225,996	224,499	198,409

(単位：千円)

項目	17年度	18年度	19年度	20年度
指定管理事業				
設備等保守管理				
警備業務	256,000	256,000	256,000	260,009
清掃業務				
光熱水費				
修繕費等				
その他運営費等	29,901	23,451	22,868	21,675
設備修繕費	5,120	528	0	0
管理運営費	11,601	11,123	10,969	10,904
その他	13,180	11,800	11,899	10,771
合計②	285,901	279,451	278,868	281,684
使用料	9,275	11,190	9,448	10,266
一般財源	276,626	268,261	269,420	271,418

(3) 支出合計

(単位：千円)

項目	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度
合計①+②	758,411	577,798	593,475	565,223	523,172	451,438
使用料	181,928	153,235	136,694	124,409	90,182	90,523
一般財源	576,483	424,563	456,781	440,814	432,990	360,915

(単位：千円)

項目	17年度	18年度	19年度	20年度
合計①+②	377,417	383,561	389,816	394,883
使用料	58,206	71,482	61,748	70,016
一般財源	319,211	312,079	328,068	324,867

■ 予算概要

■ 島根県立美術館の予算概要

2. 収入実績

(単位：千円)

	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
企画展	164,475	102,643	91,496	49,488	63,932	49,702	35,768	38,778	31,581	38,700
コレクション展	13,014	16,138	14,973	13,057	10,950	8,102	8,272	9,284	6,411	6,082
パスポート	24,045	29,139	23,584	20,584	15,495	14,472	8,859	17,424	14,254	14,968
その他	8,003	7,708	7,461	8,091	6,333	7,298	6,901	7,813	7,406	8,636
合計③	209,537	155,628	137,514	91,220	96,710	79,574	59,800	73,299	59,652	68,386

3. 収入／支出

	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
③／①	0.482	0.582	0.467	0.348	0.436	0.441	0.653	0.704	0.538	0.604
③／①+②	0.276	0.269	0.232	0.161	0.185	0.176	0.158	0.191	0.153	0.173

■ 作品収集状況

収集状況一覧

島根県立美術館所蔵作品数

平成21年3月末現在

絵 画	西洋絵画	42点			
	国内油彩	218点	資 料	666点	
	日 本 画	212点	資 料	2点	
	版 画	1,223点	資 料	44点	
	水 彩	12点			
	素 描	109点			
	工 芸	250点	資 料	3点	
	写 真	1,319点	資 料	3点	
	彫 刻	77点	資 料	3点	
		含、野外彫刻8点			
	書 跡	15点			
	総 計	3,477点	資 料	721点	

■ミュージアムパスポート会員の入会状況

■ミュージアムパスポート会員とは

観覧の回数にかかわらず購入日から起算して1年間を通じて観覧できる年間観覧券の購入者。

■パスポート料金

開館～平成16年3月

一般	大学・高校生	小・中学生
5,000円	3,000円	1,500円

平成16年4月～平成18年3月

一般	大学生	小・中・高校生
5,000円	3,000円	1,500円

平成18年4月～

一般	大学生	小・中・高校生
3,000円	1,800円	900円

■パスポート会員特典

- ・美術館ニュース（年4回発行）の送付
- ・パスポート会員の同伴者（2名まで）の企画展観覧料の割引（半額）
- ・ミュージアムショップ及び館内レストラン（ベッキオロッソ）での利用料金の5パーセント割引
- ・提携美術館の入場料割引
- ・入館ポイントでドリンクサービス

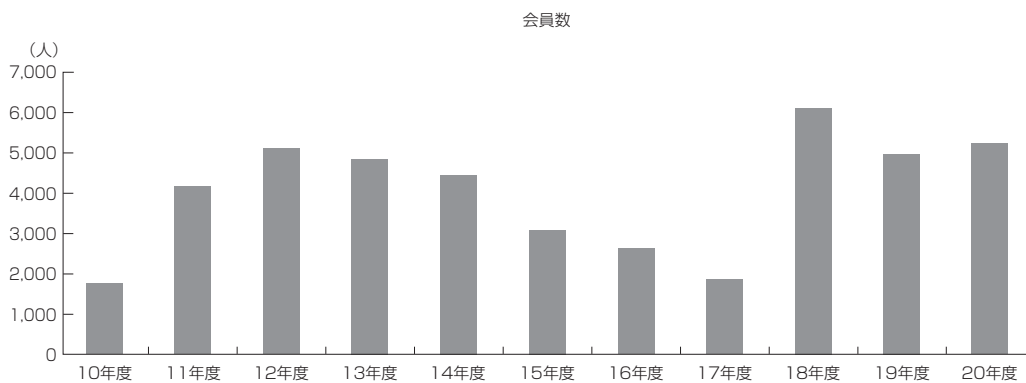
（平成20年度末現在）

■会員推移

（単位：人）

	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
会員数	1,744	4,159	5,100	4,844	4,447	3,075	2,598	1,853	6,100	4,970	5,227

注：会員数は、各年度末の現存会員数である。



■ 指定管理業務

■ 島根県立美術館指定管理業務仕様書

施設管理業務項目

業 務	管理項目	業務内容
施設管理業務	建物管理	「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく維持管理業務
		防火管理
		危険物管理
		消火設備等点検・管理
	設備等保守点検	電気・機械設備運転管理
		空調設備保守点検
		空調設備保守点検(薬液装置)
		エレベーター保守点検
		自動扉保守点検
		防火シャッター保守点検
		舞台吊り物等保守点検
		展示室照明調光装置保守点検
		電話設備保守点検
非常用電源設備保守点検		
AVシステム保守点検	ホール・講義室映像システム保守点検	
	ホール舞台照明設備保守点検	
	施設情報管理システム保守管理	
	映像ライブラリー・双方向CATV・監視カメラシステム保守点検	
	美術情報システム保守点検	
	美術館情報システム運用支援	
警備業務	駐車場管理	駐車場管理システム保守点検
	常駐有人警備	中央管理室業務、出入り管理、巡回点検、扉等の開閉、緊急対処業務、駐車場障害対応
	機械警備	防犯 火災・設備監視、非常通報
	駐車場警備・交通誘導	美術館駐車場の施設及び設備機器の警備、美術館前庭に進入した車両の誘導等
清掃業務	日常清掃	
	定期清掃	
	特別清掃	
植栽管理	廃棄物処理	廃棄物の処理
	植栽管理	樹木、芝生の管理
施設修繕		

施設運営業務項目

業 務	運営項目
ギャラリー、ホール等の使用の許可に関する業務	
貸館業務	予約受付
	使用承認、使用料徴収
	事後検査
	月間予約状況表作成
	各種申請書等の作成
	利用者案内資料の作成
	設備・機器等管理
使用料及び観覧料の徴収に関する業務	
使用料徴収業務	貸館及び駐車場の使用料徴収・保管・収納
観覧料徴収業務	当日窓口徴収 前売り券等 県への納付
使用料等還付業務	
総合案内等に関する業務	
総合対応業務	総合受付：カウンター業務
	総合受付：電話・来館者対応業務
受付・監視業務	企画展受付
	企画展監視
	常設展示室受付
	常設展示室監視
	アートライブラリー
広報・利用促進に関する業務	
広報業務	誘客・広報計画
	企画展・常設展・普及事業広報
	美術館広報
	ホームページ、メールマガジン管理運営
利用促進業務	観覧券の販売促進
	パスポート会員管理
	利用促進
	見学者案内
	案内資料等作成 館内表示板等作成
その他の業務	
業務報告	
管理規程	
連絡調整	
経費・共益費管理	施設管理経費等支払 光熱水費徴収
文書事務	文書管理 文書收受・発送
駐車場管理業務	
その他の業務	

※印は平成20年度契約更新時追加項目

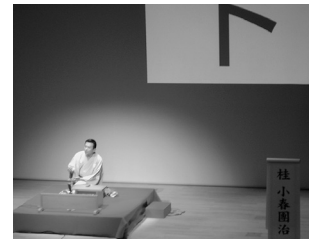
■ 指定管理業務

■ 指定管理者事業 (抜粋)

平成17年度	
「星に願いを2005」	7月5日～8月28日
「オープニングセレモニーご招待」(3回実施)	7月22日、9月16日、3月4日
「ミュージアム・フェスティバル2005」	9月18日
「アート落語」	11月12日
「アートクリスマス2005」	12月6日～27日
「アート年賀状2006」	1月2日～末日
「バレンタインスイスオルゴールコンサート」	2月12日
平成18年度	
ロビー結婚式(開館以来初)	4月15日
大規模アンケート調査の開始(来館者)	5月から
「オープニングセレモニーご招待」(3回実施)	7月22日、9月6日、3月9日
「ミュージアム・フェスティバル2006」	5月28日
「アート歌舞伎」	6月18日
「星に願いを2006」	7月22日～8月27日
「親子わくわく水体験教室」	7月30日
ロビーコンサート「祇園精舎の鐘の声～平家琵琶の夕べ」	8月19日
ロビーコンサート「田園へと誘う秋の調べ」	10月29日
「アートクリスマス2006」	12月1日～12月25日
「アート年賀状2007」	1月2日～1月29日
ロビーコンサート「ルソーが見た春の夢」	3月10日
平成19年度	
「オープニングセレモニーご招待」(4回実施)	5月18日、8月10日、9月29日、3月7日
ロビーコンサート「花降る音楽」	6月17日
「星に願いを2007」	6月20日～7月16日
島根県で開催された「全国高等学校総合文化祭」に特別協賛(新規取り組み)	7月29日～8月2日
「ミュージアム・フェスティバル2007」	8月26日
中学生によるモディリアアーニ展 一日広報大使	9月28日
ロビーコンサート「箏で奏でる愛の軌跡」	10月21日
タクシー運転手勉強会(新規取り組み)	10月1、5日、3月7、13、17日
「落語会」	11月11日
「アートクリスマス2007」	12月5日～12月24日
「アート年賀状2008」	1月2日～1月28日
ロビーコンサート「バリーニューヨーク20世紀音楽の調べ」	3月23日
平成20年度	
「美術館コンシェルジュ」開始	4月から
「石見神楽への招待」	4月20日
ホームページのリニューアル	7月から
「オープニングセレモニーご招待」(2回実施)	5月31日、7月18日
「ライトダウンキャンペーン」	6月21日～7月7日
「星に願いを2008」	6月4日～8月18日
ロビーコンサート「フルートと箏で奏でる“花鳥風月”」	6月29日
ロビーコンサート「フィレンツェの屋下がり～イタリア古典歌曲の世界～」	7月27日
「ミュージアム・フェスティバル2008」	9月21日
「無料託児サービス」(2回実施)	10月19日、3月22日
「ロコミPR隊発足式」	11月9日
「アートクリスマス2008」	11月26日～12月25日
「アート年賀状2009」	1月2日～1月26日
開館10周年記念展キャンペーン大使「県内キャラバン」	2月17日～23日
「ロコミPR隊/ポイントアップキャンペーン」の実施	3月18日～6月30日
開館10周年記念モニュメント除幕式	3月6日
開館10周年記念 先着100名記念品プレゼントキャンペーン	3月6日～8日、28日～29日
夕日コンサート「祈り」「ゴスペルの世界へようこそ」「春を彩る弦楽の調べ」	3月7日、4月4日、5月2日
「ゆるキャラ10th大集合」	4月19日
こどもの日スペシャル「オリジナル缶バッジをつくろう」	5月5日
「ファミリー感謝DAY」	5月10日
「パスポート会員感謝デー」	5月23、24日



「美術館コンシェルジュ」



「アート落語」



「アート年賀状」



「ロビーコンサート」



「アートクリスマス」

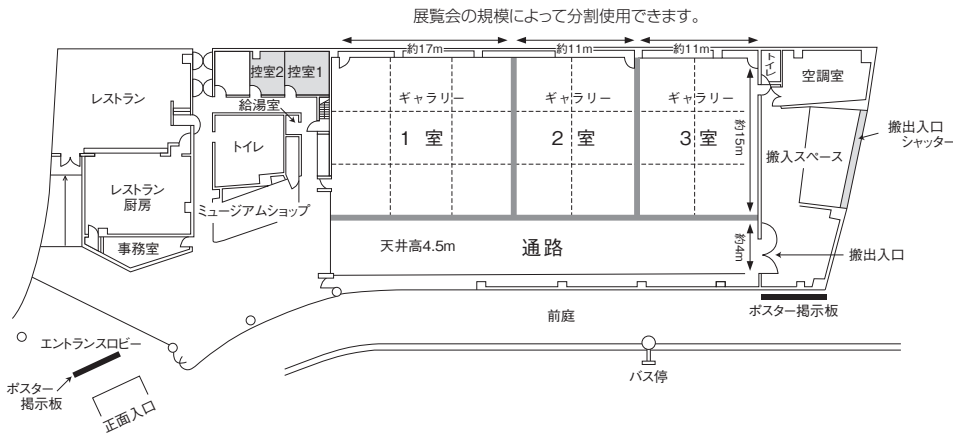


「ゆるキャラ10th大集合」

■ ギャラリー利用状況

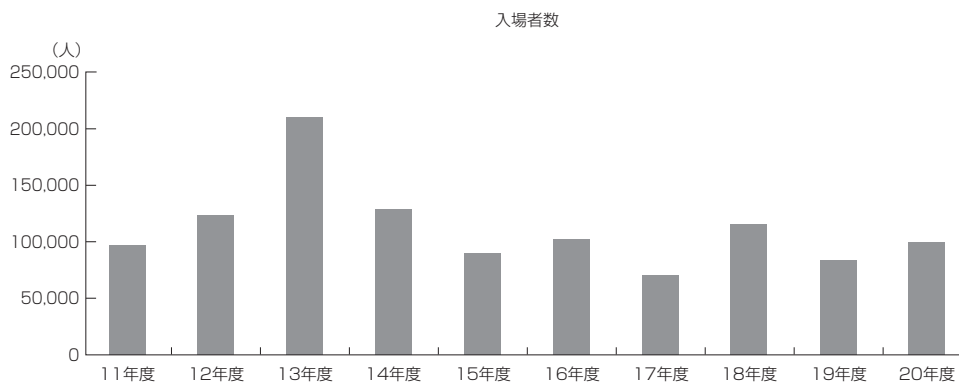
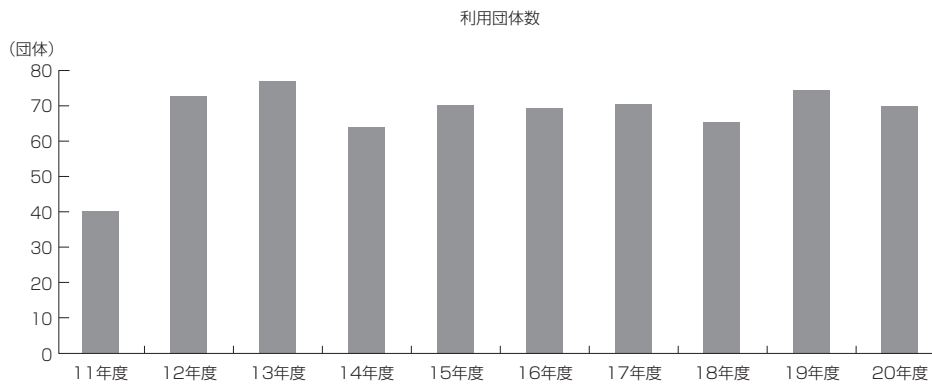
■ ギャラリーの目的

ギャラリーは本県の芸術文化の振興に寄与するため、主として美術に関する創作の発表および鑑賞の場として利用していただいております。



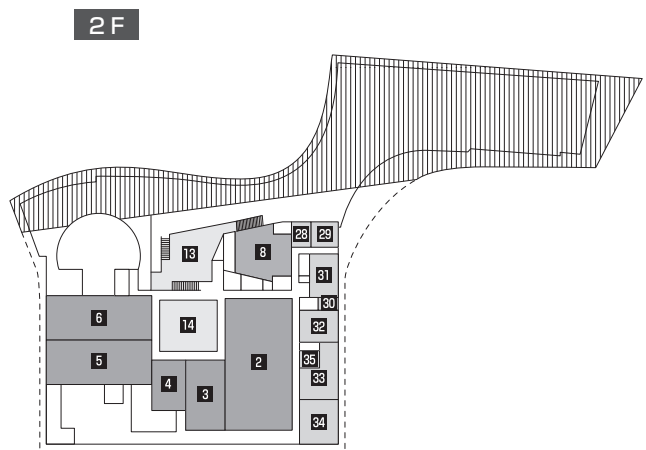
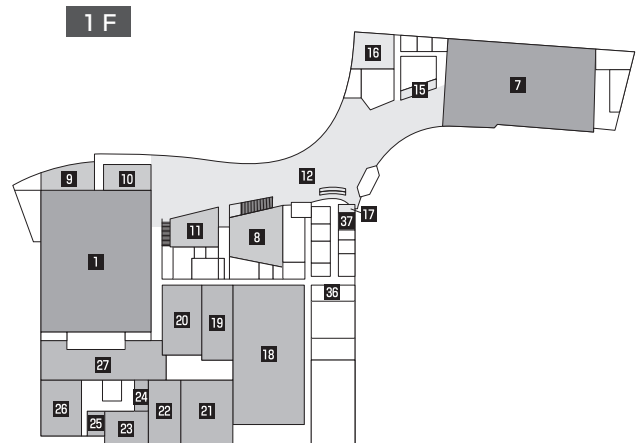
■ 利用団体数、入場者数の推移

	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
利用団体数	40 団体	72 団体	76 団体	64 団体	70 団体	69 団体	70 団体	65 団体	74 団体	70 団体
入場者数	97,317 人	123,287 人	210,286 人	128,562 人	90,044 人	102,371 人	70,319 人	115,088 人	83,734 人	99,494 人



■ フロア構成・部門別面積表

部門	室名	面積 (㎡)
展示部門	1 企画展示室	1,153
	2 展示室1 (絵画)	737
	3 展示室2 (版画)	211
	4 展示室3 (工芸)	163
	5 展示室4 (写真)	360
	6 展示室5 (彫刻)	378
	7 ギャラリー (小計)	860 (3,862)
教育普及部門	8 ホール	252
	9 アートスタジオ	104
	10 講義室	82
	11 アートライブラリー (小計)	109 (547)
サービス部門	12 エントランスロビー	1,310
	13 中2階ロビー	242
	14 2階ロビー	422
	15 ミュージアムショップ	32
	16 レストラン	99
	17 ロッカールーム (小計)	9 (2,114)
収蔵部門	収蔵庫前室	113
	18 第1収蔵庫	697
	19 第2収蔵庫	156
	20 第3収蔵庫	194
	21 第4収蔵庫	234
	22 企画保管庫	128
	23 写真撮影室	100
	24 修復室	32
	25 燻蒸室	26
	26 搬出入口	163
	27 搬入荷解スペース (小計)	344 (2,187)
事務学芸部門	28 館長室	37
	29 応接室	50
	30 副館長室	19
	31 会議室	97
	32 事務室	89
	33 学芸室	116
	34 研究資料室	111
	35 AVコントロール室 (小計)	26 (545)
	管理部門	36 中央管理室
休憩室		20
清掃管理人控室		18
37 救護室・授乳室		16
管理用ロッカー室 (小計)		23 (119)
電気機械系統	電気室	110
	発電機室	49
	機械室	186
	ACR1~11	680
	アートライブラリー機械室	27
	(小計)	(1,052)
その他	控室、倉庫、WC、廊下等	2,074
合計		12,500
	1階	8,127
	2階	4,373



■ 建築設備概要

■ 建築概要

建築物名称	島根県立美術館
所在地	松江市神師町1-5
敷地面積	14746㎡
建築面積	9311.92㎡
延床面積	12498.88㎡
階数	地上2階
最高高さ	15.5m
構造種別	鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
建築主	島根県
設計	株式会社菊竹清訓建築設計事務所
監理	島根県松江土木建築事務所 株式会社菊竹清訓建築設計事務所
施工	建築 鴻池組・松江土建特別共同企業体
強電設備	三和電工・一畑電設特別共同企業体
弱電設備	島根電工株式会社
展示照明設備	松下電工株式会社
非常電源設備	ヤンマーディーゼル株式会社
空調設備	朝日工業社・山陰温調工業特別共同企業体
給排水衛生設備	新和設備工業株式会社
エレベーター設備	三菱電機株式会社
備品整備	設計監理 株式会社菊竹清訓建築設計事務所
展示ケース	株式会社イトーキ
展示可動パネル	株式会社クマヒラ
絵画ラック	日本ファイリング株式会社
図書室書架ラック	株式会社松文オフテック
収蔵庫棚	株式会社玉屋
特注家具	株式会社玉屋
展示開放家具	株式会社えすみ
置型移動壁	株式会社松文オフテック
情報システム整備	設計監理 山陰中央テレビジョン放送株式会社
大型映像システム	日本ビクター株式会社
ホール舞台照明設備	アールディエス株式会社
施設管理系システム	富士通株式会社
防犯(警備)システム	セコム山陰株式会社
情報提供システム	松下電器産業株式会社
双方向講座中継システム	日本電気産業株式会社

■ 建築仕上

外部	屋根	チタン鋼 (t=0.8) フラットルーフ工法
外部	外壁	花崗岩(グリスベラt=30)乾式工法 パーナー一部本磨き アルミパネル (t=3) 1次電解発色 (スミトーン300)
内部	建具	アルミサッシュ (ステンカラー) 一部DPG工法 高断熱複層ガラス一部フロート板ガラス
内部	ロビー	床 : 大理石 (コハレページュt=30) 水磨き 壁 : 大理石 (モカクリームt=25) 本磨き 石膏ボード ガラスクロス貼り エマルジョンペイント
内部	展示室	天井: アルミスパンドレル アクリルウレタン塗装 床 : タイルカーペット (t=6.5) 壁 : 石膏ボード ガラスクロス貼り エマルジョンペイント 天井: 石膏ボード エマルジョンペイント 一部岩綿吸音板
内部	収蔵庫	床 : フナフローリング (t=15) 壁 : グラスウール 調湿材 米杉樋部倉矧ぎ落込み(t=15) 天井: グラスウール 調湿材 米杉本実(t=15)

■ 機械設備概要

空調換気設備	熱源	空冷スクリュウヒートポンプチャラー	100RT×1台
		直炎吸収冷温水機 (灯油焚、冷温水同時供給型)	210RT×2台
		空気調和機 (ユニット型、コンパクト型)	37系統
		冷却塔	210RT×2台
		換気送風機	16系統
		空冷ヒートポンプパッケージ	12系統
		ファンコイル	21台
		全熱交換器	15系統
	換気	給気送風機	10系統
		排気送風機	46系統
		排煙送風機	5系統
給排水衛生設備	給水	受水槽	24㎡
		給水ポンプユニット (上水給水系統)	1組
		給水ポンプユニット (雑用水給水系統)	1組
		雑用水槽 (建築工事)	52㎡
	給湯	電気給湯器	12系統
		ガス給湯器 (厨房用)	2系統
	消火	ハロゲン化物消火設備 (展示室、収蔵庫、ギャラリー)	
		屋内消火栓 (2号消火栓) 50φ×140ℓ/min×64m×5.5kw	
		屋外消火栓 100φ×800ℓ/min×44m×15kw	
	排水	排水ポンプ (自動交互運転)	2台×8ヶ所
エレベーター設備		管理用エレベーター (1号機 乗用)	
		制御方式	油圧サイドブランチャラー方式
		操作方式	セレクトチフ・コレクチフ
		積載荷重	1,000kg 15人乗
		定格速度	45m/min
		扉開閉方式	2枚戸中央開き
		停止箇所	1・2階 (2ヶ所)
		客用エレベーター (2号機 展望用)	
		制御方式	油圧直結方式
		操作方式	セレクトチフ・コレクチフ
		積載荷重	1,350kg 20人乗
		定格速度	30m/min
		扉開閉方式	2枚戸中央開き
		停止箇所	1・2階 (2ヶ所)
		搬出入用エレベーター (3号機 荷物用)	
		制御方式	油圧サイドブランチャラー方式
		操作方式	シングルオートマチックF (ADC付)
		積載荷重	4,000kg
		定格速度	30m/min
		扉開閉方式	2枚戸上開き
		停止箇所	1・2階 (2ヶ所)
		ホイストクレーン	
		昇降走行部	レール旋回部
		電源	3φ3W200V
		電動機	1φ200V
		速度	昇降3.5kw 走行0.36kw
			昇降10m/分 8秒/90°
			走行25m/分
		ストローク	MAX6000mm
		ワイヤー	8φ×4水掛
		荷重	MAX2000kg
		テーブルリフター	
		型式	3A-1085型
		積載荷重	MAX3000kg
		自重	2500kg
		テーブルサイズ	3000×2540 (GPL-6)
		最低高さ	520mm (1FL-1000)
		揚程	1500mm
		最高高さ	2020mm (1FL+500)
		上昇時間	約40秒/リフト
		下降時間	約40秒/リフト3000kg負荷時
		シリンダー	ラム型100φ×480st×6401
		ポンプ	ギア型 PA-5L
		電動機	4P 3.7kw 1720rpm
		電源	3φ 200V 60Hz
		操作	4PB 0、1000、1500、S
		落下防止バルブ付	
		3面セーフティーバー (スカート250mm付)	
		下限クッションバルブ	
		長期保持用油圧ロック付 (1FL=1000レベル)	
		吊フック	
		方式	電動昇降ワイヤー巻取式
		積載荷重	MAX300kg
		速度	約6m/分
		電動機	3φ 200V 1.5kw
		吊数	1点吊
		ワイヤー	9φ
		数量	2式 (常設展ロビー、中2階ロビー)

■ 建築設備概要

■ 備品概要

展示ケース	施工型	個別間接空調方式	
		電動フラット扉	
	置型	紫外線防止型蛍光灯 (スポットライト付)	
		エアタイト方式	
		半自動フラット扉	
		紫外線防止型蛍光灯 (スポットライト付)	
		No1 (3200w×1120d×2800h)	6台
No2 (2700w×1200d×2700h)	8台		
No3 (1800w×900d×2200h)	28台		
No4 (900w×900d×2200h)	12台		
		(内免震ケース3台)	
		No5 (900w×900d×2200h)	3台
		No6 (2028w×1014d×1086h)	18台
		No7 (1800w×900d×1086h)	4台
展示パネル	ハンガーレール	アルミ押し出し型材	
	パネル走行方式	クロス走行方式	
	パネル設置	下部圧接固定方式	
	パネル仕上げ	F1合板 ガラスクロス貼り EP塗装 ピクチャーレール付	
設置枚数	企画展示室	39枚	
	展示室1	20枚	
	展示室2	14枚	
	展示室5	6枚	
	ギャラリー	37枚	
絵画ラック	置型移動壁	L (3200w×1200d×2800h)	31台
		L (3200w×1200d×3400h)	16台
架台吊下げ式		W1 (2760w×450d×3025h)	12台
		W2 (3000w×450d×3025h)	32台
		W3 (3900w×450d×3025h)	32台
		W4 (4200w×450d×3025h)	36台

■ 電気設備概要

強電設備	電力引込 受変電	3相3線6.6KV 1回線受電地中引込 将来予備線引込対応
		屋内キュービクル式受配電盤 変圧器容量 2650KVA(3相1750KVA単相900KVA) 契約電力 950KVA 高調波対策コンデンサー設置 (高圧、変圧器2次側)
非常電源	発電機	ガスタービン機関6.6KV500KVA1台 出力600PS以上 始動方式 セルモーター電気式 燃料 灯油 非常時10時間以上運転可能
		蓄電池 シール型効放電用鉛蓄電池 MSE-200Ah54セル 無停電 定格容量30KVA 2次側単相3線210V/105V 電源装置 運転方式 常時インバーター運転 蓄電池 MSE-150Ah (10分間)
中央監視	受変電	クラブナ・空調、衛生 CRT卓 照明制御盤、 複合防災CRT卓 セキュリティー監視卓 (ITV、防犯、 カードゲート) エレベーター監視、身障者表示監視他
照明	表参照	デジタル電子交換機
		INSネット64・1500構築機能、館内PHS機能付
弱電設備	電話	非常・業務兼用防災アンブ、容量360W+120W 回線数30局、デジタルミュージックチャイム、 CD-BGMプレーヤー、カセットデッキ、 AM/FMチューナー等機能組込 遠隔用マルチリモコン1台
		テレビ共聴 ヘッドエンド装置 (双方向、片方向供) BS/CSアンテナ、CATV受信 (山陰ケーブルテレビ ジョン)
インターホン	保守系インターホン	親子式24局 業務系インターホン相互式 6局 呼出し用 1セット
障害者表示	多目的トイレ呼出し表示、表示器6窓	
難聴誘導	難聴者用音声装置、フラットケーブル布設 (ホール、講 議室)、誘導コントロール、誘導スピーカーユニット (メ イン入口、ロビー)	
電気時計	親時計1回線、液晶式禁煙表示付休憩時間時計 (ホール)	

■ ホール設備

映像	フロント投影式ハイビジョンプロジェクター 250インチスクリーン (張込式 電動開閉カットマスク共) 移動操作卓、映像収録卓、映像機器架、ハイビジョン書画装置 ハイビジョン静止画再生装置、ハイビジョンLD、ミュージズLD、W- VHS VTR、DVD、ハイビジョンテロップ、BS/CSチューナー リモコンカメラ2台、移動型カメラ1台、35mmスライド映写機2台 自動上映プログラムによる無人上映システム
音響	舞台照明 ボーダーライト1列、サスペンションライト1列、アッパーホリゾン トライト3色1列、ローアホリゾントライト3色1列、シーリングラ イト1列、フロントサイドスポットライト上・下各3段 フロアコンセント6回路 同上用各種昇降装置1式 電源容量75kVA、舞台用調光器3kW×33台、客席用調光器 2kW×9台 調光レベルメモリー310シーン 自動上映プログラムによる無人上映システムに連動

■ 講義室設備

映像・音響	フロント投影式ハイビジョンプロジェクター (電動昇降式) 120インチスクリーン (張込式 電動開閉カットマスク共) 移動操作卓、映像機器架、音響機器架、ハイビジョン書画装置 ハイビジョン静止画再生装置、ハイビジョンLD、ミュージズLD W-VHS VTR、DVD、BS/CSチューナー 35mmスライドコンバータ、16mmフィルムコンバータ メイン、センター、サラウンド、天井の各スピーカー ワイヤレスマイク2本、スピーチマイク2本
その他	電動昇降式ホワイトボード、電動ロールブラインド

■ 情報設備

映像ライブラリ	ハイビジョンブース (ハイビジョン番組視聴) 2ブース ビデオブース (既存ソフト視聴) 2ブース VODサーバ、MPEGエンコーダ設備、ノンリニア動画編集設備 VOD端末 (ホール、講義室、CATV送出用) ハイビジョンソフト視聴ワゴン
美術作品情報	来館者向け美術作品情報検索端末 (ハイビジョン) 2台 美術作品情報データベース 外部情報交流システム (WWWサーバ)
双方向CATV	BSおよびデジタルCS対応ヘッドエンド設備 ロビー端末 (来館者向け情報提供) 3台 ホール大型映像、監視カメラ、施設情報管理、映像ライブラリ、 及び双方向講座中継システムと接続
双方向講座中継	テレビ会議装置、遠隔教育支援用映像表示装置 (CDPS) 映像送出卓、移動型ワゴン (上り変調器、移動型カメラコン トローラ搭載) 館内双方向CATVと接続
施設管理	施設情報管理システム、トラフィックセンサ

■ 建築設備概要

1. 展示保存環境

(1) 空調和

※温湿度の設定は変更可能

区分	企画展示室	展示室1～5	第1～第3収蔵庫、前室	第4収蔵庫	企画保管庫	
設定温度 (℃)	夏季	24～25	24～25	通年22	通年20	通年18～25
	冬季	22	22			
設定湿度通年	45～65%	55%±5	55%±5	50%	45～65%	

(2) 照 明

企画展示室	間接蛍光灯ベース照明（高演色紫外線防止ランプ32W） 展示照明 ハロゲンスポットライト及びウォールウォッシャーユニット ライティングダクト用ハロゲンスポットライト 昼光利用部分蛍光灯人工照明（高演色紫外線防止ランプ32W）
展示室1	間接蛍光灯ベース照明（高演色紫外線防止ランプ32W） 展示照明 ハロゲンスポットライト及びウォールウォッシャーユニット ライティングダクト用ハロゲンスポットライト
展示室2 展示室3	間接蛍光灯ベース照明（高演色紫外線防止ランプ32W） 天井埋込型ハロゲンベース照明 展示照明 ライティングダクト用ハロゲンスポットライト
展示室4	間接蛍光灯ベース照明（高演色紫外線防止ランプ32W） 展示照明 ハロゲンスポットライト及びウォールウォッシャーユニット ライティングダクト用ハロゲンスポットライト
展示室5	間接蛍光灯ベース照明（高演色紫外線防止ランプ32W） 展示照明 ライティングダクト用ハロゲンスポットライト

調光装置

企画展示室	白熱灯用2KW97回路 リモコンリレー付	蛍光灯用2KW25回路 照明調光操作パネル ワイヤレス装置
展示室1	白熱灯用2KW85回路 リモコンリレー付	蛍光灯用2KW9回路 照明調光操作パネル ワイヤレス装置
展示室2～5	白熱灯用2KW94回路 リモコンリレー付	蛍光灯用2KW22回路 照明調光操作パネル ワイヤレス装置
ギャラリー	白熱灯用2KW28回路 リモコンリレー付	蛍光灯用2KW30回路 照明調光操作パネル3面 ワイヤレス装置

昼光利用装置

企画展示室	自然光／人工光制御装置 電動ルーバー装置	外光照度センサー4セット 調光装置連動
-------	-------------------------	------------------------

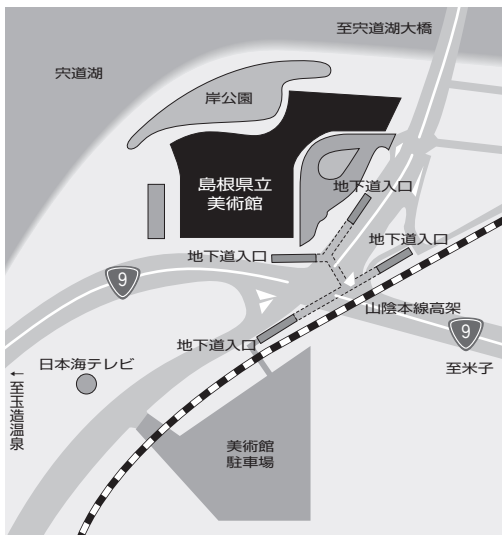
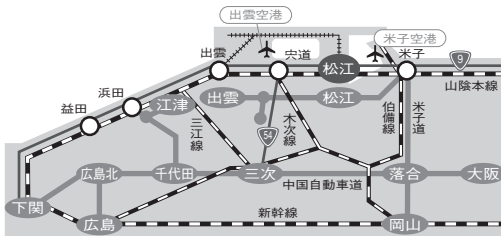
(3) 展示室仕様

室名	有効最大壁長 (固定+可動)	天井高 (展示面)	ケース長 (有効)	ケース面積 (有効)	積載荷重 (地震用)	床材
企画展示室	190.0m	4.5m	66.5m	79㎡	210kg/㎡	タイルカーペット
展示室1	160.7m	4.5m	46.3m	55㎡	210kg/㎡	タイルカーペット
展示室2	43.5m	3.0m	34.2m	21㎡	210kg/㎡	タイルカーペット
展示室3	—	3.0m	31.2m	24㎡	210kg/㎡	タイルカーペット
展示室4	69.5m	4.5m	—	—	210kg/㎡	タイルカーペット
展示室5	69.8m	4.5m	15.5m	18㎡	210kg/㎡	タイルカーペット
ギャラリー	355.9m	4.5m	—	—	210kg/㎡	ゴムタイル

2. セキュリティ設備

防 火	複合受信機GR型集中監視 表示方式CRT20インチ付操作卓 表示回線124（自火報、防火戸、シャッター、防排煙、屋内消火栓（2号）、屋外消火栓、 ハロン消火、ガス他） 感知器自動点検機能付 副受信機
防 犯	機械警備システム一式 （カードによる出入管理、監視カメラ、防犯センサ、絵画センサ）

■ 利用案内



- 開館時間 10月～2月 10:00～18:30
3月～9月 10:00～日没後30分
(展示室への入場は閉館時刻の30分前まで)
- 休館日 毎週火曜日
(火曜日が祝日の場合は開館し、翌平日を休館日とします。)
年末年始(12月28日～1月1日)
※但し、企画展の開催日程に合わせて休館日を変更する場合があります。
- 観覧料 コレクション展 ()内は20名以上の団体料金
一般:300(240)円
大学生:200(160)円
高校生以下は無料
企画展については展覧会ごとに定めます。
◎コレクション展と企画展とを同日に観覧する場合は、コレクション展の料金が半額となります。
◎小中高生(引率者を含む)の学校教育活動での観覧は無料(事前に美術館にご連絡ください)。
◎身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方およびその付添人は無料。
- 駐車場 利用時間 8:00～21:30
料金 3時間まで無料。以降1時間ごとに100円。
- 交通案内 ◇JR松江駅より徒歩15分
◇JR松江駅より松江市営バス南循環線内回り6分、「県立美術館前」下車
(観光ループバス「レイクライン」も美術館前に停車します。)

〒690-0049 島根県松江市神師町1-5

TEL:0852-55-4700(代表)

FAX:0852-55-4714

URL:<http://www1.pref.shimane.lg.jp/contents/sam/>

E-mail:sam@pref.shimane.lg.jp

島根県立美術館のあゆみ 2004-2009

平成23年3月31日発行

編集・発行：島根県立美術館 ©2011

〒690-0049 島根県松江市袖師町1-5

TEL: 0852-55-4700